

ibiTM WebFOCUS[®]

リリースノート/新機能ガイド

バージョン 9.3.0 | 2024 年 4 月

目次

目次	2
新機能	4
機能の変更	20
非推奨機能	21
バージョン 9.3.0	21
削除された機能	22
マイグレートと互換性	23
修正済み問題	24
既知の問題	66
バージョンおよびビルド情報	67
ブラウザ情報	67
ibi WebFOCUS のアクセシビリティ 準拠	72
アクセシビリティのサポート基準	72
適合ステータス	72
アクセシビリティ機能の範囲	73
テクノロジー仕様	74
制限事項	74
ibi WebFOCUS Client でサポートされるオペレーティングシステム	76
ibi WebFOCUS での Java Platform、Standard Edition (Java SE) のサポ ート	77
サポート対象の Web サーバおよび Application Server	78
ibi WebFOCUS Client リポジトリでサポート対象の RDBMS およびドライバ	78

ローカリゼーション (NLV) および NLS の制限事項	82
国際言語サポート (NLS)	82
ローカライズ版のサポート (NLV)	82
ibi WebFOCUS および ibi WebFOCUS Reporting Server	83
言語	84
ibi WebFOCUS Client および ibi WebFOCUS ReportCaster	86
ibi WebFOCUS レポート および Microsoft Office のサポート	86
ibi WebFOCUS レポートフォーマットおよび Microsoft 製品との関連付け	87
ibi WebFOCUS の EXL2K、PPT フォーマットおよび Microsoft Office 製品のサ ポート	88
Microsoft Office 2003 のサポート	88
ibi WebFOCUS の EXL2K、PPT フォーマットおよび Microsoft Office Viewer 製 品のサポート	88
Microsoft Office 365 のサポート	89
ハイパーリンクを使用してレポートを実行する際の注意事項	89
ibi WebFOCUS の DOC フォーマット	90
Legal and Third-Party Notices	91

新機能

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® では、次の機能が追加されています。

- **NOCRS 権限**

サーバ管理者は、[アクセスコントロール] メニューの [一般ユーザ] ロールで [全般権限] の [NOCRS] のチェックをオンにすることで、一般ユーザのシノニム作成権限を無効にすることができます。

- **NORDU 権限**

サーバ管理者は、[アクセスコントロール] メニューの [一般ユーザ] ロールで [全般権限] の [NORDU] のチェックをオンにすることで、一般ユーザのローデータのアップロード権限を無効にすることができます。デフォルト設定では、このチェックはオフになっています。

- **NOSSE 権限**

サーバ管理者は、[アクセスコントロール] メニューの [一般ユーザ] ロールで [全般権限] の [NOSSE] のチェックをオンにすることで、一般ユーザの SQL ステートメント編集権限を無効にすることができます。デフォルト設定では、このチェックはオフになっています。

- **アダプタの MERGE サポート**

バージョン 9.3.0 以降、次のアダプタで MERGE サポートが提供されます。

- Informix アダプタ
- PostgreSQL バージョン 15 用 PostgreSQL アダプタ
- Snowflake Cloud Data Warehouse アダプタ
- Sybase アダプタ

- **アダプタの MERGE 統計サポート**

リリース 9.3.0 以降、次のアダプタで、更新、挿入、削除された行数についての MERGE 統計が提供されます。

- Oracle アダプタ
- Google BigQuery アダプタ

さらに、Google BigQuery アダプタでは、大規模なレコードセットをロードする

際の使用メモリが低減されています。

• **アダプタの UPSERT サポート**

リリース 9.3.0 以降、次のアダプタで UPSERT サポートが提供されます。

- Amazon Redshift アダプタ
- Greenplum アダプタ
- Hyperstage PG アダプタ
- MariaDB アダプタ
- Microsoft Azure Synapse Analytics アダプタ
- MySQL アダプタ
- Netezza アダプタ
- PostgreSQL バージョン 14 用 PostgreSQL アダプタ
- SAP HANA アダプタ
- Snowflake Cloud Data Warehouse アダプタ

• **UTF 以外の文字と NULL 文字の処理の改善**

JDBC アダプタでは、UTF 以外の文字、および NULL 文字の処理が改善されています。

• **マルチセグメントマスターファイルでの重複名処理の改善**

JDBC アダプタおよび ODBC アダプタで、マルチセグメントマスターファイルでの重複名の処理が改善されています。

• **Google BigQuery アダプタの gzip エンコード**

Google BigQuery アダプタで、[HTTPACCEPTENCODING] 設定を使用して、HTTP 圧縮に gzip エンコードを使用することができます。

• **JDBC アダプタの JLINK サポート**

JLINK の JDBC アダプタで、DatabaseMetaData.getCrossReference() への直接呼び出しが有効になっています。

• **ODBC のワイド Unicode API サポート**

バージョン 9.3.0 以降、ODBC のワイド Unicode API サポートが提供されます。

• **GetData 設定の使用**

GetData 設定を使用して、[データの取得] ページからデータをアップロードするときに、テーブル名を編集できるようになりました。この機能を使用するには、[データの取得] 設定で [GETDATA_EDIT_TABLENAME] の値を [はい] に設定します。

- **Reporting Server プロファイル設定でのパス変数の使用**

[変数を Reporting Server プロファイルに送信] 設定を使用することで、プロファイル変数のリストを ibi™ WebFOCUS® Reporting Server プロファイルに渡すことができるようになりました。

- **edatemp_disk_limit 設定の使用**

[edatemp_disk_limit] 設定を使用することで、edatemp ディレクトリ下で使用可能なディスク容量の最大値を、キロバイト単位で定義できるようになりました。

- **マルチレイヤマップの SVG アイコン**

マルチレイヤマップで、SVG アイコンのさまざまなスタイルを設定できるようになりました。

- **Hyperstage PG アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Hyperstage PG アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数

1. MDN.
2. MDE.
3. RNK
4. PARTITION_AGGR()
5. PARTITION_REF()
6. BY HIGHEST n
7. DATEADD(DAY)

- SQL 関数

1. MEDIAN()
2. MODE()

- **Apache Drill アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Apache Drill アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数

1. PARTITION_AGGR(B/E、B/C、または C/E)
2. PARTITION_REF(1 または -1)
3. RNK
4. BY HIGHEST n
5. REPLACE()
6. HPART(DAY_OF_YEAR, WEEKDAY)
7. DTPART(DAY_OF_YEAR, WEEKDAY)
8. PHONETIC()
9. TOKEN()
10. GET_TOKEN()
11. MDE. 集約接頭語の最適化

- SQL 関数

1. PHONETIC()
2. TOKEN()
3. REVERSE()
4. REPEAT()
5. CHR()
6. ASCII()

- **HP Vertica アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、HP Vertica アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数

1. DATEDIFF(DAY)
2. COMPUTE の MISSING
3. MDN. as APPROXIMATE_MEDIAN

- **Microsoft SQL Server アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Microsoft SQL Server アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. DTRUNC
 2. MIN|MAX スカラ関数
 3. 任意文字の TRIM
 4. APPROX_PERCENTILE_CONT を使用した MDN 集計接頭語
 5. INT
 6. vector IN
 7. マルチペア DB_INFILE
 8. COMPUTE の MISSING
- SQL 関数
 1. LAST_VALUE|FIRST_VALUE with IGNORE NULLS
 2. DTRUNC
 3. 任意文字の TRIM
 4. EXCEPT ALL
- データプロファイリング関数
 1. 中央値、Q1、Q3、四分位範囲

• Google BigQuery アダプタの改善

バージョン 9.3.0 以降、Google BigQuery アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. PHONETIC(SET PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)
 2. 任意文字の TRIM
 3. TOKEN(negative)
 4. DATEDIFF(DAY)

5. MDE. 集約接頭語の最適化

6. マルチペア DB_INFILE

7. COMPUTE の MISSING

◦ SQL 関数

1. REGEXP_INSTR

2. PHONETIC(SET PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)

3. INITCAP

4. MODE (approximate)

5. CHR

6. ASCII

7. HEX(alpha のみ)

• **TIBCO Data Virtualization アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、TIBCO Data Virtualization アダプタでは次の関数がサポートされています。

◦ テーブル関数

1. REGEX

2. PATTERNS

3. PHONETIC(PHONETIC_ALGORITHM=METAPHONE)

4. INT

5. TO_INTEGER

6. TO_NUMBER

7. DT_FORMAT (一部のフォーマット)

8. DTRUNC

9. DTPART(MICROSECOND)

10. HPART(MICROSECOND)

11. マルチカラムの IN

12. クロス DBMS DB_INFILE

- SQL 関数
 1. SQL_PHON_DBL_MP
 2. SQL_SEARCH_REXP_REPLACE
 3. SQL_SEARCH_REXP_INSTR
 4. SQL_MATH_TRUNC

• Informix アダプタの改善

バージョン 9.3.0 以降、Informix アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. 複数固有値の集計
 2. DTPART(DAY_OF_YEAR|QUARTER)
 3. HPART(DAY_OF_YEAR|QUARTER)
 4. DT_FORMAT(一部のフォーマット)
 5. Vector IN
 6. マルチペア DB_INFILE
 7. BY HIGHEST n define
 8. 完全な MERGE サポート
- SQL 関数
 1. EXCEPT
 2. INTERSECT
 3. QUARTER()/EXTRACT(QUARTER)

• Amazon Redshift アダプタの改善

バージョン 9.3.0 以降、Amazon Redshift アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. PHONETIC(PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)
- SQL 関数

1. PHONETIC(PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)
2. ASCII()
3. HEX()
4. INTERSECT ALL
5. EXCEPT ALL

• PostgreSQL アダプタの改善

バージョン 9.3.0 以降、PostgreSQL V15 アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. REGEX
- SQL 関数
 1. REGEXP_INSTR
 2. REGEXP_COUNT
 3. RLIKE

バージョン 9.3.0 以降、PostgreSQL バージョン 14.2 アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. DATEDIFF(DAY)
 2. MDE. 集約接頭語の最適化
 3. COMPUTE の MISSING
- SQL 関数
 1. REGEXP_SUBSTR
 2. REGEXP_COUNT
 3. TOKEN

• Microsoft Azure Synapse Analytics アダプタの改善

バージョン 9.3.0 以降、Microsoft Azure Synapse Analytics アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. DT_FORMAT()
 2. DB_INFILE(multi-pair)
 3. LIKE ESCAPE
 4. MIN()/MAX() スカラ関数
 5. ブランクなしの TRIM()
- SQL 関数
 1. DT_FORMAT()
 2. RAND()
 3. サンプルング
 4. ブランクなしの TRIM()
 5. GREATEST()/LEAST()
 6. LISTAGG()
 7. APPROX_COUNT_DISTINC()

• EXASol アダプタの改善

バージョン 9.3.0 以降、EXASol アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. PARTITION_AGGR,
 2. 任意文字の TRIM
 3. DATEDIFF(DAY)
 4. DTPART(DAY_OF_YEAR)
 5. HPART('DAY-OF-YEAR')
 6. マルチカラムの IN
 7. クロス DBMS DB_INFILE
- SQL 関数
 1. TO_UNIXTIME

- **Cloudera Impala to Access Data Managed by Hadoop アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降では、Cloudera Impala to Access Data Managed by Hadoop アダプタでは、次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. 任意文字の TRIM
 2. DT_FORMAT(一部のフォーマット)
 3. HPART(DAY_OF_YEAR|DAY_OF_WEEK|MILLISECOND|MICROSECOND)
 4. DTPART(DAY_OF_YEAR|DAY_OF_WEEK|MILLISECOND|MICROSECOND)
 5. マルチペア DB_INFILE
- SQL 関数
 1. DAY_OF_YEAR

- **H2 Database アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、H2 Database アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. TOKEN(negative)
 2. 完全な MERGE サポート
 3. BY HIGHEST n define
 4. COMPUTE の MISSING
 5. vector IN
 6. MDE.
 7. 任意文字の TRIM

- **Sybase アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Sybase アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. 完全な MERGE サポート
 2. マルチペア DB_INFILE

3. COMPUTE の MISSING

4. TRUNCATE()

- **SAP Hana アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、SAP Hana アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数

1. DATEADD()

2. TOKEN(negative)

3. GET_TOKEN(negative)

4. DTPART(millisecond, microsecond)

5. HPART(millisecond, microsecond)

6. COMPUTE の MISSING

- **MySQL アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、MySQL アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数

1. PARTITION_REF

2. PARTITION_AGGR

3. RANKED BY

4. BY HIGHEST|LOWEST n

5. COMPUTE の MISSING

- SQL 関数

1. 分析関数

- **Apache Hive to Access Data Managed by Hadoop アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Apache Hive to Access Data Managed by Hadoop アダプタでは、次の関数がサポートされています。

- テーブル関数

1. DTPART(DAY_OF_YEAR, MILLISECOND)

2. HPART(DAY_OF_YEAR, MILLISECOND)
3. PATTERNS
4. COMPUTE の MISSING
5. DB_INFILE(multi-pair)
6. vector IN
7. 任意文字の TRIM

- SQL 関数

1. DISTINCT + GROUP BY

- **Apache Spark アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Apache Spark アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数

1. DTPART(DAY_OF_YEAR, MILLISECOND)
2. HPART(DAY_OF_YEAR, MILLISECOND)
3. PATTERNS
4. COMPUTE の MISSING
5. DB_INFILE(multi-pair)
6. vector IN
7. 任意文字の TRIM

- SQL 関数

1. DISTINCT + GROUP BY

- **Amazon Athena アダプタの改善**

バージョン 9.3.0 以降、Amazon Athena アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数

1. 任意文字の TRIM

2. PHONETIC(PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)
 3. DTPART(MILLISECOND|MICROSECOND)
 4. HPART(MILLISECOND|MICROSECOND)
 5. MIN/MAX スカラ関数
 6. マルチカラムの IN
 7. クロス DBMS DB_INFILE
 8. マルチペア DB_INFILE
- SQL 関数
 1. REGEXP_INSTR
 2. REGEXP_COUNT
 3. RANGE (分析関数ウィンドウフレーム)
 4. GROUPS (分析関数ウィンドウフレーム)
 5. MODE (approximate)
 6. INTERSECT
 7. INTERSECT ALL
 8. EXCEPT
 9. EXCEPT ALL
 10. PHONETIC(PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)
 11. ASCII
 12. LENGTH

• Presto アダプタの改善

バージョン 9.3.0 以降、Presto アダプタでは次の関数がサポートされています。

- テーブル関数
 1. 任意文字の TRIM
 2. PHONETIC(PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)

3. DTPART(MILLISECOND|MICROSECOND)
 4. HPART(MILLISECOND|MICROSECOND)
 5. MIN/MAX スカラ関数
 6. マルチカラムの IN
 7. クロス DBMS DB_INFILE
 8. マルチペア DB_INFILE
- SQL 関数
 1. REGEXP_INSTR
 2. REGEXP_COUNT
 3. RANGE (分析関数ウィンドウフレーム)
 4. GROUPS (分析関数ウィンドウフレーム)
 5. MODE (approximate)
 6. INTERSECT
 7. INTERSECT ALL
 8. EXCEPT
 9. EXCEPT ALL
 10. PHONETIC(PHONETIC_ALGORITHM=SOUNDEX)
 11. ASCII
 12. LENGTH
- **ibi™ WebFOCUS® Client および Server でサポートされるオフラインでホストされるヘルプ**

ibi™ WebFOCUS® Client および Server のすべてのマニュアルを docs.tibco.com からダウンロードし、ローカルサーバまたは代替リモートサーバ上でオンラインヘルプとして構成することができるようになりました。詳細は、『ibi™ WebFOCUS® インストールガイド for Linux/UNIX』および『ibi™ WebFOCUS® インストールガイド for Windows』の「ibi™ WebFOCUS® ヘルプ」のトピックを参照してください。
 - **FOCUSPAGES 関数**

バージョン 9.3.0 以降、新しい FOCUS 関数である FOCUSPAGES が、すべてのブラッ

トフォームで使用できるようになりました。この関数を使用すると、ファイルサイズをページ数として確認できます。? FILE (filename) によって返される値と同一の値を返します。この関数によって返された値を変数に保存し、ファイルにデータが存在するかどうかを確認するために使用できます。

- **マイグレートツール**

新しいマイグレートツールを使用すると、あるプラットフォームから別のプラットフォーム、さらにはクラウドへのマイグレートが容易になります。環境内のメタデータを分析し、構成をエクスポートして新しいシステムにマイグレートできます。

- **スタンドアロンの Hyperstage PG**

Hyperstage PG は、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server のパッケージからは除外されていますが、Linux および Windows プラットフォームでは、スタンドアロンとしてインストールすることができます。

- **Analytic Document グラフおよびレポートの新しいスタイルプロパティ**

Analytic Document のグラフとレポートのスタイルシートに、新しいプロパティ AR_SHOW_MENU が追加されました。このプロパティは、デフォルトでオンに設定されています。オフに設定すると、右上の [...] メニューが非表示になります。

- **IbComposer_resetInputControl 関数**

ibi™ WebFOCUS® App Studio では、新しい関数 IbComposer_resetInputControl が使用できます。この関数を使用すると、コントロールを元の状態にリセットできます。

- **マップのパラメータフィールドリスト**

バージョン 9.3.0 以降、マップでパラメータフィールドリストの追加がサポートされます。

- **マップのスタイルシートテーマ**

バージョン 9.3.0 以降、マップでスタイルシートテーマの追加がサポートされます。

- **XLSX 複合レポートのバースト**

バージョン 9.3.0 以降、XLSX 複合レポートのバーストがサポートされています。

- **顧客 ID の必須化**

このバージョンでは、インストール時に ibi™ WebFOCUS® ソフトウェアとともに提供される顧客 ID の入力が必要となっています。

- **Excel ドキュメント内のコンポーネントの配置**

Excel 複合ドキュメントにコンポーネントを配置できるようになりました。項目を単数

または複数のワークシート上に配置することも、セル単位で固定された位置に配置することも、相互に相対的に配置することもできます。

- **ライセンス有効期限のアラート通知**

バージョン 9.3.0 以降、ライセンスと顧客 ID の有効期限が切れる前に、Email 通知が送信されるよう設定できます。

- **積み上げ棒グラフの NULL シリーズ**

バージョン 9.3.0 以降、積み上げ棒グラフから NULL 値を削除できるようになりました。

- **Designer でサポートされる NLQ 機能**

バージョン 9.3.0 以降、Designer から NLQ 機能にアクセスできるようになりました。

- **マルチレイヤマップでのドリルダウンサポート**

バージョン 9.3.0 以降、マルチレイヤマップでドリルダウン機能がサポートされるようになりました。

- **Designer のアコーディオンレポートサポート**

バージョン 9.3.0 以降、Designer でアコーディオンレポート機能がサポートされるようになりました。

- **Designer でサポートされる列幅**

バージョン 9.3.0 以降、Designer によるレポートの作成時に、列幅機能がサポートされます。

- **Designer オートプロンプトテンプレートの新規ウィンドウで実行オプション**

Designer のオートプロンプトテンプレートで [新規ウィンドウで実行] オプションが利用できるようになりました。これにより、パラメータ化されたコンテンツを現在のウィンドウではなく新しいウィンドウで実行できるようになりました。

- **FOCUS および CRTFORM で有効化された UTF サポート**

このバージョンのインタラクティブ FOCUS および CRTFORM では、データ、メタデータ、MOIDFY、DM、TALK、およびその他の関連機能について、Unicode 変換形式 (UTF) が完全にサポートされるようになりました。

- **AHTML グラフでの 1 兆圧縮の有効化**

AHTML のグラフとレポートで 1 兆単位の圧縮が有効になりました。「兆」を超えるデータ値には、「T」が追加されます。

機能の変更

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® では、次の機能が変更されています。

- AHTML グラフを作成する場合、見出しと脚注は、常にグラフに埋め込まれます。
- ワークスペースの作成時に、大文字と小文字が混在する文字を使用して名前を付けた場合、大文字小文字の混在の設定にかかわらず、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server は、関連するアプリケーションディレクトリ名を常に小文字で作成します。
- ibi™ WebFOCUS® App Studio の `WF_composer_skip_missing_values` プロパティに、新しい値 `SHOW_DISPLAY` が追加されました。この値を使用すると、MISSING 値がすべて表示されます。この値は、管理コンソールの [カスタム設定] から追加できます。
- このバージョンでは、新規インストールで既存のリポジトリを選択する場合、`db_lb_update.bat` (Windows) または `db_lb_update.sh` (UNIX/Linux) を実行する必要があります。
- バージョン 9.3.0 以降、Python アダプタの変更点は次のとおりです。
 - z/OS プラットフォームのサポートは終了しました。
 - このバージョンでは、Windows x64 および Linux Intel x64 プラットフォームのみがサポートされています。
 - 事前インストールされた Python のバージョンは、Windows x64 および Linux Intel x64 プラットフォームでは提供されなくなりました。したがって、これらのプラットフォームに Python を個別にインストールする必要があります。サポートされている Python のバージョンは 3.9.x のみです。

Python のインストール手順を確認するには、[データの取得] ページで [Python アダプタ] アイコンを右クリックし、[要件] を選択します。

- このバージョンでは、WHERE テストおよび IF テストで `IN` 演算子を指定する場合、リスト要素の区切り文字としてカンマ (,) を使用する必要があります。

非推奨機能

ibi™ WebFOCUS® のこのバージョンでは、次の機能が非推奨になっています。

- ❏ **注意：**非推奨になった機能については、該当する場合、便利な代替機能が記載されています。非推奨の機能は、将来のバージョンで削除される可能性があるため、使用を中止する必要があります。非推奨の機能に依存しないようにするため、提案された代替機能について理解しておく必要があります。

バージョン 9.3.0

キー	概要
IA-12168	ibi™ WebFOCUS® クイックデータ Excel アドインでは、[クエリの編集] および [接続の編集] オプションが無効になっています。
RC-2476	Microsoft 基本認証 SMTP が削除され、OAuth に置き換えられました。
SRVMED-1636	ISPF からの USS/ZFS インストールのサポートパネルは非推奨となり、将来のバージョンで削除される予定です。

削除された機能

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® では、次の機能が削除されています。

キー	概要
IBITCM-8979	9.3.0 以降、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server ブラウザインターフェースの [データの取得] ページから、次のアダプタが削除されました。 • Interplex アダプタ • Oracle E-Business Suite アダプタ • Oracle TimesTen アダプタ • Siebel アダプタ • SnappyData アダプタ

マイグレートと互換性

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® には、マイグレート手順や互換性の問題はありません。

修正済み問題

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® で修正済みの問題は次のとおりです。

キー	概要
ACT-2441	AHTML リクエストで、COMPRESS が OFF に設定され、返される行が 1 行のみの場合、リクエストが失敗し、出力がブランクになります。(02204466)
ACT-2421	AHTML レポートで、スタイルシートで HFREEZE=ON が使用されている場合、ページ区切りが期待どおりに機能しません。(02185224)
ACT-2420	Designer のプレビューモードで列グループ (ACROSS) を使用すると、条件付きスタイルが正しく表示されません。(02176377)
ACT-2410	AHTML 折れ線グラフで、X 軸の値の順序によって折れ線グラフが壊れます。(02150480)
ACT-2409	AHTML レポートでグリッドツールを使用し、スタイルシートで HFREEZE=ON が使用されている場合、誤ったソート順が表示されます。(02173662)
ACT-2403	AHTML レポートのスタイルシートで HFREEZE=ON、HFREEZE=ON、SUBTOTALS が使用され、列がページ幅を超えている場合、SUBTOTAL 行がデータ列と揃いません。(02113811)
ACT-2279	AHTML レポートでリストツールを使用し、スタイルシートで HFREEZE=ON を設定した場合、列に誤ったソート順が表示されます。(02030936)
ACT-2254	AHTML リクエストで、SET NODATA='' コマンドがミッシングおよびミッシングではない値とともに使用されている

キー	概要
	場合、Excel にファイルが壊れていることを示すエラーメッセージが表示されます。(02203164、02030178、02090815)
BIP-5244	ibi™ WebFOCUS® ポータルの上部と側部のナビゲーションに、折りたたみ可能なナビゲーション矢印が表示されません。(02185013)
BIP-5237	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.0.4 から 9.1.1 にアップグレード後、V4 ポータルが表示されません。(02178734)
CD-5718	Designer で [インサイト実行] オプションを選択またはクリアすると、エラーメッセージが表示されます。この問題は、レポートまたはグラフを作成し、フィルタを追加するために値を含めたり除外したりしたすると発生します。(02235234)
CD-5468	新しいビジュアライゼーションを保存しても、期待どおりに現在のディレクトリまたはワークスペースに保存されません。(02200741)
CD-5461	Designer で、ドリルダウンフィルタに値と変数が含まれている場合、このフィルタを開いて編集することができません。(02203914)
CD-5449	マスターファイルに TITLE というフィールド名が含まれている場合、複数のレポートで完全修飾名を使用せずに DEFINE フィールドを作成すると、エラーが発生します。(02169685)
CD-5421	ibi™ WebFOCUS® Designer で、コンテンツタイプをグラフからレポートに変更後、さらにレポートからグラフに変更すると、シリーズの色が適用されません。この問題は、CHART-COLOR-MEASURES が OFF に設定されるために発生します。(02223778)
CD-5332	マスターファイルで DBA を使用すると、マスターファイ

キー	概要
	ルの Designer へのロードに時間がかかります。 (02221359)
CD-5308	ibi™ WebFOCUS® Designer で、ACFCEPT 条件を使用するフィルタを [フィルタ] バケットに追加すると、エラーメッセージが表示されます。(02221114、02223937)
CD-5243	ibi™ WebFOCUS® Designer で、多数のサブフォルダを含むアプリケーションフォルダに移動してマスターファイルを検索すると、検索が遅くなります。(02201604)
CD-5219	ibi™ WebFOCUS® Designer で、ページがロードされる前に [出力フォーマット] メニューをクリックすると、選択されていないものも含めて、すべての出力フォーマットが表示されます。(02209975)
CD-5208	ibi™ WebFOCUS® Designer で、すべての値を含む静的フィルタを設定すると、ページが複数ページに分割されている場合でも、単一ページの値のみが適用されます。 (02210034、02213571、02216454)
CD-5174	ibi™ WebFOCUS® Designer で、DEFINE フィールドにミッシング値が含まれている場合、動的グループを作成することができません。(02206596)
CD-5128	ibi™ WebFOCUS® Designer で、オートドリルダウンを有効にした既存のレポートで Exception Check Logs エラーが表示されます。(02200712)
CD-5047	ibi™ WebFOCUS® Designer で、グラフまたはレポートを再び開いた場合、[実行時に選択] 出力フォーマットオプションが保持されません。
CD-5004	ibi™ WebFOCUS® Designer で、CRFILE クロスリファレンスが設定されたマスターファイルを使用するとエラーが発生します。(021944290)

キー	概要
CD-5003	9.2.0 にアップグレード後、一部のマスターファイルを使用してレポートを作成すると、エラーが発生します。
CD-4974	ibi™ WebFOCUS® Designer の SQL エディタで、アプリケーション名が長すぎる場合にエラーが発生します。 (02189950)
CD-4929	ibi™ WebFOCUS® Designer で、YYMD. のようなピリオド (.) で区切られた日付フォーマットが機能しません。 (02185973)
CD-4927	ibi™ WebFOCUS® Designer の [フィルタの追加] で、最初のページの [データから選択] ダイアログボックスで、静的フィルターバケットに最初の 25 個の値のみが表示されます。 (02187886)
CD-4912	ibi™ WebFOCUS® Designer でパラメータ名を変更した場合、変更が出力に反映されません。 (02028823)
CD-4852	バージョン 9.1 から 9.2 にアップグレード後、ibi™ WebFOCUS® Designer のリポジトリで、FROM... TO フィルタパラメータを使用する新しいコンテンツが保存できません。 (02182469)
CD-4833	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で SET HOLDFORMAT = ALPHA を使用すると、InfoAssist が起動できなくなります。 (02122169、02180422)
CD-4828	ibi™ WebFOCUS® Designer で、保存済みドキュメントにプロンプト変数が含まれている場合、9.2.0 では編集できません。 (02200251)
CD-4817	ibi™ WebFOCUS® Designer で、DEFINE フィールドを含む HOLD ファイルで、FIELDNAME NOT RECOGNIZED エラーが発生します。 (02180100)
CD-4810	ibi™ WebFOCUS® Designer の [詳細] バケットに 99 個を

キー	概要
	超えるフィールドを追加することができません。 (02179180)
CD-4786	ibi™ WebFOCUS® Designer で、レポートオブジェクトを編集することができません。(02169926、02222125)
CD-4766	ibi™ WebFOCUS® Designer のフィルタシェルフで必須の選択項目を選択すると、ターゲットプロシジャにプロンプト出力が表示されます。(02171738)
CD-4761	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist でパラメータフィールドリストを作成する場合、日付フィールドおよび位置情報フィールドをリストに配置することができません。(02171386、02184987)
CD-4700	ibi™ WebFOCUS® Designer で、[実行時に選択] 出力フォーマットでコンテンツを保存後、[出力フォーマット] として [HTML5] が表示されます。(02183727)
CD-4512	ibi™ WebFOCUS® Designer で Firefox (UTF-8) を使用すると、[演算の追加] ウィンドウのフォントが変更されます。 (02130268)
CD-4146	マスターファイルにカスタム階層を作成し、このマスターファイルからビジュアライゼーションを作成すると、新しい階層のフィールドが正しいフォルダに表示されません。 (02084954)
CD-3636	ibi™ WebFOCUS® Designer でレポートを作成する際に、同名の 2 つのフィールドをフィルタとして追加した場合、オートプロンプトページにドロップダウンが 1 つだけ表示されます。(02033978)
CLRPT-4189	セキュリティを [認証情報の要求] に設定して最初のログイン時にテキストエディタからプロシジャを実行すると、doSubmit の値の入力が要求されます。(02225827)

キー	概要
CLRPT-4187	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.06 から 9.2.1 にマイグレート後、一部のレポートでドリルダウンをクリックすると、site.wfs で設定されている場合でも、[IBIC_server] の値の入力が要求されます。(02226605)
CLRPT-4177	ibi™ WebFOCUS® で、レポートの実行時に、デフォルト値にエスケープリテラルのアンパサンド (&) 文字が含まれている場合、この値をグローバル変数を使用して設定することができません。(02222137)
CLRPT-4143	ibi™ WebFOCUS® で Solr サービスが実行されていない場合、軽量プロセス (NLWP) 接続エビクタの数が増加し続けます。(02201420)
CLRPT-4133	プロシジャのパラメータにデフォルト値を指定する場合、システム変数 &REMOTE_HOST、&REMOTE_ADDR、&QUERY_STRING が渡される代わりに、プロンプトが表示されます。(02216242)
CLRPT-4066	[最新のアクセス時間を更新] が [オフ] に設定されていても、プロシジャのプロパティで更新されます。(02214901)
CLRPT-4048	ログアウト時に tracking.xml ファイルが更新され、パフォーマンスに影響する可能性があります。(02204351)
CLRPT-4041	[最新のアクセス時間を更新] (IBI_UPDATE_LAST_ACCESS=OFF) コマンドが無視されます。(02203639、02214901)
CLRPT-3996	AHTML レポートからポータルへのドリルダウンを実行すると、値 (日本語データ) の転送が完了しません。(02194359)
CLRPT-3983	SJIS 環境で edasprof.prf ファイルに [CURRSYMB=EUR] を設定すると、InfoAssist が開始しません。(02194331)
CLRPT-3958	多数の Reporting Server を外部セキュリティと多数の

キー	概要
	ユーザで構成すると、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。(021745720)
CLRPT-3950	Git アダプタで、[ソース管理を有効にする] ダイアログボックスの [ソース管理] で [アプリケーションをソース管理下に配置] を選択すると、内部 IBFS エラーが発生します。(02207517)
CLRPT-3939	Designer でビジュアライゼーションを作成し、日本語の文字を使用して名前を付けると、エラーメッセージが表示され、コンテンツが作成されません。(02187142)
CLRPT-3936	バージョン 9.1.1 にアップグレード後、特定の InfoAssist レポートまたはグラフを開くと、修復不能なエラーが発生します。(02179361、02186364)
CLRPT-3931	バージョン 9.2.0 にアップグレード後、一部のレポートオブジェクトを編集または複製できなくなります。(02188787)
CLRPT-3924	InfoAssist で同一項目に対して複数の動的フィルタを設定すると、エラーが発生し、プロシジャファイルを保存できなくなります。(02182537)
CLRPT-3920	バージョン 8.2.06 から 9.2.0 にアップグレード後、バージョン 8.2.06 で動作していた一部のコードが 9.2.0 では動作しなくなります。この問題は、主にコード内のコメントが最初の列から開始されていない場合に発生します。(02184801、02213173)
CLRPT-3904	PCHOLD AS name FORMAT XLSX ステートメントを含むレポートを ibi™ WebFOCUS® Hub から実行すると、AS 名ではなく実際のプロシジャ名の Excel ファイルがダウンロードされます。(02191602、02185767)
CLRPT-3890	ISO-8859-1 または ISO-8859-15 エンコードの WebSphere Application Server (WAS) で特殊文字を含むレポートを実

キー	概要
	行すると、エラーが発生します。(02170040)
CLRPT-3859	ビジュアライゼーションを作成する際に、[データソースの選択] ダイアログボックスに日本語のアプリケーションフォルダが表示されません。(02176865)
CLRPT-3857	mrddtcleanup.bat ファイルをサイレントモードまたはインタラクティブモードで実行すると、 java.lang.NullPointerException: null メッセージが表示されます。(02177432)
CLRPT-3855	バージョン 9.1.1 にアップグレード後に db_inplace_update.bat ファイルを実行すると、インストールエラーメッセージが表示されます。(02173547)
CLRPT-3839	変数名に日本語の文字が使用されている場合、[デフォード実行] が失敗します。(02174869)
CLRPT-3825	ibi™ WebFOCUS® で変更管理パッケージを作成しようとすると、エクスポートプロセスが応答を停止し、完了しません。この問題は、ユーザ ID にハイフン (-) が含まれている場合に発生します。(02175293)
CLRPT-3779	バージョン 8.1.05 から 8.2.07 にアップグレード後、複数の HTML ファイルを呼び出すレポートを実行すると、400-Bad Request エラーが発生します。(02164451)
CLRPT-3766	db_lb_update.bat ファイルを実行すると、Oracle および MSSQL データベースのマイグレートエラーが発生します。
CLRPT-3713	セキュリティセンターに多数のグループが存在する場合、ibi™ WebFOCUS® に初めてログインするときに時間がかかることがあります。(02158239)
CLRPT-3679	ソース管理下にあり、ブランチで不要になったファイルを ibi™ WebFOCUS® ワークスペースから削除する方法があ

キー	概要
	りません。(02154387)
CLRPT-3678	WebFOCUS Git オプションから [コミットとプッシュ] コマンドを使用する際に、サブフォルダレベルに新しいプロシジャが存在する場合、変更または更新されたプロシジャがリモートリポジトリにプッシュされません。(02154386)
IA-12297	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で、パイプ () 文字を使用するパラメータフィルタが動作しません。(02215445)
IA-12295	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist の一部のレポートで、プロシジャの DEFINE フィールドの順序が変更されるため、エラーが発生します。(02212179)
IA-12286	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で同名の DEFINE フィールドが複数存在するレポートを開くと、リソース使用量が急増し、パフォーマンスに影響します。(02194821)
IA-12231	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で、[新規式] オプションを使用して作成されたフィルタが含まれるコンテンツに DEFINE または COMPUTE を作成した場合、フィールドが見つからないことを示すメッセージが表示されます。(02176608)
IA-12230	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist の JOIN で、両方の JOIN の背景色が黒のため、2 番目のマスターファイルの [X] を確認することができません。(02176603)
IA-12222	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で、ドキュメント内のグラフに、出力フォーマットで適用可能な [インタラクティブ] オプションが表示されません。(02171249)
IA-12195	フィルタのパラメータを選択後、一部の演算子がリストに表示されません。(02162615、02175422)
IA-12192	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist でコンテンツを再び開くと、以前に [新規式] オプションで作成したフィルタが変更さ

キー	概要
	れる場合や、このフィルタでエラーが発生する場合があります。(02159870)
IA-12179	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で、列タイトルをオンまたはオフにして保存したレポートを再び開くと、エラーが発生します。(02157619)
IA-12129	バージョン 8.2.07.28 にマイグレートすると、DEFINE と JOINS の配置によってエラーが発生します。(02128012、02173959)
IA-12088	バージョン 8.2.07.28 にアップグレード後、複数の DEFINE フィールドを含むレポートを InfoAssist で開くと、システムが応答を停止し、Java の CPU 使用率が非常に高くなります。(02113472)
IA-11990	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で、末尾のブランクがテキストの一部である場合、見出しまたは脚注ウィンドウにテキストを貼り付けることができません。(02087717、02095679)
IA-11895	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で、レポートを保存して再び開くと、MAX. 集計が設定された中間合計が、SUM. 集計に変更されます。(02064506)
IA-11147	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で、[ファイルの有無をテスト] オプションを使用してアラートを作成した場合、完全修飾パスからダッシュ (-) が削除されます。(02029017、02213510)
IA-8656	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で円グラフにソートを適用すると、ドリルダウンボタンが無効になります。(02027611)
IBIAS-8680	ibi™ WebFOCUS® App Studio で入力フィールドから複数の値を渡す場合、これらの値の修正後に一部のフィールドに対して _FOC_NULL が返されます。(02225969)

キー	概要
IBIAS-8678	ibi™ WebFOCUS® App Studio で MAINTAIN フォームのコントロールを初期ページでロードしない設定にしても、これらがロードされます。(02224966)
IBIAS-8676	ibi™ WebFOCUS® App Studio で [リクエストとデータソース] のサブメニューを表示後、サブメニューを開いてブランクのエリアをすばやくクリックすると、App Studio が終了します。(02223160)
IBIAS-8675	App Studio の HTML ページで最大化された出力ウィジェットを最小化すると、ウィンドウとウィジェットの間になぜか隙間が残ります。(02221010)
IBIAS-8663	ibi™ WebFOCUS® App Studio ヘルプをローカルに展開すると、内部ヘルプビューアに期待どおりに表示されません。(02221530)
IBIAS-8657	Designer ポータルで、HTML ページの連鎖パラメータがセカンダリページに渡されません。(02219049)
IBIAS-8653	HTML ページの IFRAME をターゲットとする AHTML レポートでドリルダウンを実行すると、ドリルダウンが IFRAME ではなく新しいブラウザタブで開きます。(02141476)
IBIAS-8651	Designer ポータルで、ページ間を移動すると、onInitialUpdate 関数によって初期化されたカレンダーフィルタコントロールの日付が消失します。(02218011)
IBIAS-8646	ibi™ WebFOCUS® App Studio MAINTAIN でブランクのデータグリッドを実行すると、JavaScript エラーが発生します。(02216516)
IBIAS-8645	特定のプロシジャで、ibi™ WebFOCUS® App Studio 8.2.07.28 が応答を停止します。(02207099)
IBIAS-8635	セッションがタイムアウトした場合、ユーザをログイン

キー	概要
	ページに移動させる代わりに、XML エラーが表示され ます。(02141604)
IBIAS-8630	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.2.1 で、HTML リソース レイアウトページでグローバル名属性を使用すると、その属 性が新しい HTML ページに渡されません。(02209900)
IBIAS-8629	ibi™ WebFOCUS® App Studio で SAML と匿名認証を使用 して接続しようとする、エラーが発生します。 (02209872)
IBIAS-8627	保存したパラメータセットを使用してプロシジャを実行す ると、HTML ページを開く代わりに、[パラメータの保存] ウィンドウが表示されます。(02211368)
IBIAS-8625	ibi™ WebFOCUS® App Studio で IP アドレスを使用して環 境を構成すると、レポートの実行中に Cookie エラーが発 生します。(02202761)
IBIAS-8622	ドロップダウンを設定した HTML ページで、[実行] ボタ ンの矢印が表示されません。(02203117、02203619)
IBIAS-8621	ibi™ WebFOCUS® App Studio でレポートの出力先として [ファイルの保存] を選択すると、Excel テンプレートの設 定が自動的に削除されます。(02205837)
IBIAS-8620	Designer オートプロンプトテンプレートが、タブコンテ ナで動作しません。(02203117、02203619)
IBIAS-8619	新しい HTML を作成してボタンの値を [送信] また は [リセット] に変更すると、HTML ファイルを保存後、 変数の値が「ボタン」 (Button) に戻ります。(02207008)
IBIAS-8617	App Studio の HTML ページのカレンダーコントロール で、「on blur」 イベントおよび「on focus」 イベントが 動作しません。(02206391)

キー	概要
IBIAS-8611	App Studio で PDF ファイルを作成する場合、[デザイン] タブと [ソース] タブを切り替えると改行が削除されます。(02199935)
IBIAS-8610	ibi™ WebFOCUS® App Studio バージョン 9.2.1 にアップグレード後、SQL レポートウィザードに接続が表示されません。(02194489、02212161)
IBIAS-8609	ダブルリストで [ページ/検索] コントロールを使用すると、[最後] ボタンと [すべてリセット] ボタンが期待どおりに動作しません。(02201137)
IBIAS-8601	ibi™ WebFOCUS® App Studio バージョン 9.2.0 で開発者が 2 つの環境を切り替えると、アクセス拒否エラーが発生します。(02199287)
IBIAS-8599	ibi™ WebFOCUS® App Studio バージョン 9.2.0 にアップグレード後、PDF ファイルまたは XLSX ファイルをダウンロードすると、ウィンドウが自動的に閉じません。(02198533)
IBIAS-8591	ibi™ WebFOCUS® App Studio バージョン 9.2.0 で、ユーザが選択内容を入力し、それを別のコントロールに挿入してフィルタを設定するコントロールの JavaScript が動作しません。(02196394)
IBIAS-8580	ibi™ WebFOCUS® App Studio で HTML ページのテキスト領域に値を追加せずにパラメータ条件を保存後、ページをロードすると、テキスト領域に「FOC_NOSELECTION」と表示されます。(02188930)
IBIAS-8579	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.06 から 9.2.0 にマイグレート後、HTML ページの静的リストボックスコントロールに、値を持たない余分な要素が含まれます。(02193423)
IBIAS-8577	ibi™ WebFOCUS® App Studio で、値の長さがドロップダ

キー	概要
	ウンコントロールの幅に適合しない場合、ドロップダウンリスト上にマウスポインタを置いても値が表示されません。(02192008)
IBIAS-8575	ibi™ WebFOCUS® App Studio の HTML ページで、選択を行う前にダブルリストボックスの矢印がロードされます。(02192296)
IBIAS-8574	ibi™ WebFOCUS® App Studio で複数のアニメーションをロードする際に、HTML ページ上のスピナが残ります。(02192040)
IBIAS-8565	ibi™ WebFOCUS® App Studio で HTML ページを開くと、パラメータのデフォルト値が変更されたコンテンツのバインドが、コントロールから解除されます。(02191028)
IBIAS-8564	ibi™ WebFOCUS® App Studio の HTML ページの <code>isoutputboundasvalue</code> 属性の解釈が、バージョン 8.2.06 と 9.2.0 で異なります。(02191008)
IBIAS-8563	ibi™ WebFOCUS® App Studio で、アプリケーションフォルダ内のシノニムファイルから [レポートの作成] または「InfoAssist グラフの作成」を選択すると、エラーが発生します。(02187474)
IBIAS-8560	ibi™ WebFOCUS® App Studio 8207.28.13 Hotfix 20 以降、App Studio の HTML ページロードに時間がかかります。(02189040)
IBIAS-8556	ibi™ WebFOCUS® App Studio の連鎖した 2 つのカレンダー日付コントロールで、最初に開始日を選択しなくても、終了日のカレンダーを選択したり開いたりすることができます。(02185555)
IBIAS-8551	ibi™ WebFOCUS® App Studio の HTML ページで選択範囲を保存する場合、[フォーマットなしの値を送信] オプションが選択されていても、日付パラメータのフォーマットが

キー	概要
	スラッシュ (/) として設定されます。たとえば、「20230531」ではなく「2023/05/31」になります。(02187711)
IBIAS-8550	ibi™ WebFOCUS® App Studio の HTML ページで矢印ボタンをクリックしても、スライダコントロールの値が変更されないことがあります。(02185140)
IBIAS-8537	App Studio で、ダブルリストボックスにすべての値ではなく 50 個の値のみが表示されます。(02185286)
IBIAS-8532	HTML ページで、[設定] タブの [フォーマットなしの値を送信] オプションが有効になっていない場合、カレンダーコントロールが選択された値なしで送信される可能性があります。これは、コントロールの [プロパティ] パネルで選択と検証のオプションが [必要/検証なし] に設定されている場合に発生します。(02181438)
IBIAS-8529	ibi™ WebFOCUS® App Studio の HTML ページから、日付がプロシジャ (fex) に正しく送信されません。(02182104)
IBIAS-8520	ibi™ WebFOCUS® App Studio で、PPTX 出力フォーマットでダウンロードしたドキュメントを開くとエラーが表示されます。(02180186)
IBIAS-8519	ibi™ WebFOCUS® App Studio で、テキストエディタで 20 個の BY セグメントを含むレポートを編集し、テーマを適用すると、レポートを保存した後に App Studio が応答しなくなります。(02179762)
IBIAS-8517	ibi™ WebFOCUS® App Studio の HTML ページに複数のコントロールが存在する場合、MultiSourceTreeControl の Save パラメータにより、以前に保存されたレポートの値と、新しく保存されたレポートの値がロードされます。(02181143)
IBIAS-8507	Microsoft Edge、Google Chrome、または Mozilla Firefox

キー	概要
	Selenium で ibi™ WebFOCUS® App Studio を実行すると、以前に定義された Cookie が送信されません。(02177179)
IBIAS-8505	ibi™ WebFOCUS® App Studio をバージョン 8.1.05M から 9.0.4 にアップグレードすると、ドロップダウンを含む HTML コンポーザページの実行時に [表示フィールド] の値が表示されません。(02175956)
IBIAS-8491	ibi™ WebFOCUS® App Studio で [リクエストとデータソース] を使用し、プロシジャ内の変数名の末尾にアンダースコア (_) を追加すると、エラーが発生します。(02173297)
IBIAS-8482	オブジェクト インспекタの [JOIN] ウィンドウを閉じると、マスターファイルフィールドの代わりに [JOIN] ウィンドウが表示されます。(02172087)
IBIAS-8480	ibi™ WebFOCUS® App Studio バージョン 8.2.07 と 9.1.0 では、Default_theme.css が変更されたため、HTML リソースレイアウトページに影響します。(02166323)
IBIAS-8466	ibi™ WebFOCUS® App Studio のローカライズされた HTML ページでは、カレンダーコントロールの時刻、時、分、秒のラベルが翻訳されていません。(02171043)
IBIAS-8422	ibi™ WebFOCUS® App Studio で [選択項目を保存] パラメータを含む HTML ページにフランス語の文字 é が使用されている場合、ファイアウォールによってブロックされます。(02157707)
IBIAS-7955	ibi™ WebFOCUS® App Studio で SAML 認証を使用すると、ログイン資格情報を提供してもアクセスが拒否されます。(02032600、02091290、02144565、02034731)
IBIDF-3990	同一パラメータとして静的な値と動的な値が両方設定された ibi™ WebFOCUS® Designer オートプロンプトを含むブ

キー	概要
	ロシジャを実行する場合、いずれの値も表示されません。 (02201784)
IBIDF-3918	日付フィルタを設定した場合、Designer ページのブックマークが追加した翌日から期待どおりに機能しません。 (02209712)
IBIDF-3912	[FOCUS] タブのレポートで、ユーザによるパラメータの選択が待機されます。ただし、ユーザがその他のタブをクリックすると、パラメータやフィルタが選択されない状態で、レポートが実行されます。(02227099)
IBIDF-3908	ibi™ WebFOCUS® レポートオブジェクトを使用して作成されたグラフで、ドリルエニウェア機能が動作しません。 (02225966)
IBIDF-3907	DEFINE フィールドと変数が設定された ibi™ WebFOCUS® Designer オートプロンプトレポートで、DEFINE フィールドが変数のデフォルト値が設定される前に呼び出されている場合、エラーが表示されます。(02222856)
IBIDF-3901	ibi™ WebFOCUS® Designer で、レスポンシブオートプロンプトテンプレートを使用するパラメータ付きレポートを保存しようとする、エラーが表示されます。(02224332)
IBIDF-3875	ibi™ WebFOCUS® でソースが複数選択の静的パラメータにバインドされている場合、ブックマークが期待通りに動作しません。(02215416)
IBIDF-3867	ibi™ WebFOCUS® Designer で、親フィルタ値がデフォルト設定で割り当てられている場合、マルチレベルの連鎖のサポートが失敗します。(02214397)
IBIDF-3851	ibi™ WebFOCUS® Designer でマイグレート済みの Designer ページに [エクスポート] オプションが表示されず、日付コントロールに問題があります。(02210465)

キー	概要
IBIDF-3850	ibi™ WebFOCUS® Designer で自動リフレッシュを有効にしてページを実行すると、構成エラーがスローされます。(02211787)
IBIDF-3847	ibi™ WebFOCUS® Designer で、[フィルタ] ドロップダウンリストに正しいフォーマットの日付が表示されません。(02205841)
IBIDF-3838	ibi™ WebFOCUS® Designer で、NULL 値の動作が [_FOC_NULL_] に設定されている場合、[新規ウィンドウで実行] オプションを選択すると、ブランクの画面が表示されます。(02209952)
IBIDF-3831	ibi™ WebFOCUS® Designer で作成したページを編集し、[名前を付けて保存] を選択して同名で保存した場合、ページのビジュアライゼーションから CSS と JS が削除されます。
IBIDF-3825	条件付きインタラクションを追加すると、ページ上のフィルタコントロールが再配置されます。(02206248)
IBIDF-3816	ビジュアライゼーションで、幅と高さの手動設定が期待どおりに動作しません。(02203946)
IBIDF-3786	選択コントロールを有効にしても、後続のフィルタが更新されませんでした。(02199872)
IBIDF-3748	ibi™ WebFOCUS® でメッセージビューアをオンにしてレポートを実行しても、ibi™ WebFOCUS® App Studio にメッセージが表示されません。[パラメータのプロンプト] を [デザイナー] に設定したレポートを ibi™ WebFOCUS® Hub から直接実行した場合も、同様の動作が確認できます。(02186470)
IBIDF-3716	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server で pyserv_url が構成されていない場合、ibi™ WebFOCUS® Designer の [インサイト] 機能が有効になります。(02203920)

キー	概要
IBIDF-3672	ibi™ WebFOCUS® 9.2.0 で、フィルタページングがデフォルト設定で有効になりません。(02186204)
IBIDF-3561	ibi™ WebFOCUS® Designer で、デフォルトオートプロンプトテンプレートが [デザイナ] に設定されている場合、[IBIMR_domain] および [IBIMR_fullpath] に誤った値が表示されます。(02166402、02177483)
IBIDF-3560	ibi™ WebFOCUS® Designer でテキストエディタからプロシジャを実行すると、オートプロンプトテンプレートによって FOC205 エラーがスローされます。(02166275、02193494)
IBIDF-3551	ibi™ WebFOCUS® Designer でフィールド名の文字が DBCS の場合、ドリルダウンにパラメータが渡されません。(02164709)
IBIDF-3507	ibi™ WebFOCUS® Designer のプロシジャで、マスターファイルフィルタに ACCEPT 値リストが使用されている場合、Designer ページのドロップダウンコントロールが動作しません。(02162033)
IBIDF-3489	ibi™ WebFOCUS® Designer のビジュアライゼーションを使用して作成されたページで、単一日付フィルタから取得される結果が正しくなりません。(02149325)
IBIDF-3423	ibi™ WebFOCUS® Designer で、動的フィルタソースの名前が DBCS の場合、フィールドデータが表示されません。(02150931)
IBIDP-226	ibi™ WebFOCUS® を以前のバージョンから新しいバージョンにマイグレートする場合、Designer ポータルのイメージが正しく配置されません。(02218230、02217054)
IBIINST-2709	App Studio のゼロフットプリントネットワークインストールが実行できません。(02210241)

キー	概要
IBIPD-1750	ibi™ WebFOCUS® グローバル変数が有効な場合、フィルタに [すべて] の値が表示されます。(02210442)
IBIUX-2299	ibi™ WebFOCUS® Hub の [ポータル] エリアで、カスタムサムネールイメージが表示されません。(02193380、02206513)
IBIUX-2169	ibi™ WebFOCUS® で [データの探索] 機能を使用して任意のデータソースを検索すると、エラーが表示されます。(02209664)
IBIUX-2127	ibi™ WebFOCUS® Hub で、一部のファイルで表示サイズが 10 倍になります。(02195292)
IBIUX-2121	WebFOCUS ibi™ WebFOCUS® Hub で、同じ項目を複数回繰り返し右クリックした場合、使用したり閉じたりできない半透明のコンテキストメニューが表示されることがあります。(02190007、02200102)
IBIUX-2115	ibi™ WebFOCUS® 8.2.0.7 から ibi™ WebFOCUS® 9.2.0 にアップグレード後、ポータルからログアウトしようとする、ユーザはログアウトされず、ポータルに戻されます。(02181585)
IBIUX-2080	ibi™ WebFOCUS® Hub で、ユーザが [このユーザと共有] または [マイワークスペース] コマンドを使用後、[お気に入り] または [最近使ったファイル] が、複数回複製されます。(02188013)
IBIUX-2072	WebFOCUS ibi™ WebFOCUS® Hub でポータルにショートカットを追加しても、ワークスペースが更新されません。(02188652)
IBIUX-1998	WebFOCUS ibi™ WebFOCUS® Hub で [このグループのルール] オプションのセキュリティルールセットのリストが表示されません。(02188584、02184826、02186847、02192715)

キー	概要
IBIUX-1967	ibi™ WebFOCUS® Designer のビジュアライゼーションでマスターファイルを検索する場合、アプリケーションフォルダ、サブフォルダの一部がスキャンの対象から除外されます。(02166024)
IBIUX-1746	ibi™ WebFOCUS® Designer でパラメータプロンプトのデフォルトオートプロンプトテンプレートが [レスポンス] に設定されている場合、オートプロンプトパネルが下部付近に表示され、見えなくなります。(02160967、02205644)
IBIUX-1617	ibi™ WebFOCUS® 管理コンソールを直接 URL から起動した場合、標準の ibi™ WebFOCUS® インターフェーススタイルが適用されません。(02208650、02221523)
IBIUX-1581	ibi™ WebFOCUS® Designer ポータルで、ユーザメニューが AODA (Accessibility for Ontarians with Disabilities Act) に準拠していません。(02147233)
IDA-1490	NOPRINT フィールドが、AHTML ドリルダウンで使用されません。(02223011)
IDA-1485	パーセントレイアウトオプションを使用して AHTML の棒グラフ、面グラフ、または折れ線グラフを作成する場合、レポートを実行して PNG ファイルとしてエクスポートしようとする、結果のイメージが、選択したパーセントレイアウトではなく積み上げグラフとして表示されます。(02203160)
IDA-1450	AHTML レポートまたはグラフで、JavaScript ドリルダウン関数または Portaldispatch を使用すると、ブラウザおよびツールのコンソールにエラーが表示されます。(02196222)
IDA-1446	AHTML フォーマットで LAYOUTRTL= ON を設定すると、数値の左側ではなく右側にマイナス符号 (-) が表示されます。(02193995)

キー	概要
IDA-1425	Analytic Document で AHTML フォーマットの棒グラフ、面グラフ、または折れ線グラフを作成すると、軸タイトルを非表示にするプロパティを設定しても、軸タイトルが表示されます。(02172021、02176882、02183715)
IDA-1393	リストツールを使用後、Designer ページコンテナメニューから Analytic Document オプションが消失します。(02230159)
IDA-1165	Analytic Document のグラフで、大きい数値の略語 (例、英語で 1000 を表す K) が、ibi™ WebFOCUS® で選択した言語に翻訳されません。(02030731)
MNTRSV-108	MAINTAIN の呼び出しの間に 60 秒の遅延が発生します。(02217679)
MNTRSV-104	呼び出し先の子から呼び出し元の親 MAINTAIN に戻ると、コンテナを含むリポジトリの親フォームの再表示に失敗します。(02208231)
MNTRSV-101	MAINTAIN フォームのチェックボックスに、ラベルなしの複数のオプションが表示されます。(02218691)
MNTRSV-95	親 HTML ファイルが子 HTML ファイルを呼び出す場合、子 HTML を閉じててもコントロールが親 HTML に戻されません。(02208231)
MNTRSV-85	ibi™ WebFOCUS® App Studio バージョン 9.1.0 または 9.2.0 で外部 MAINTAIN プロシジャを実行すると、エラーが発生するか、出力が生成されません。(02181942、02184756)
MNTRSV-77	ibi™ WebFOCUS® App Studio MAINTAIN で A2000V フォーマットの 2 つのフィールドに対して WHERE 句を含む NEXT ステートメントを使用すると、フォームが表示されなくなります。(02161790)

キー	概要
RC-3002	REST サービスを通じてトレースを有効する目的で、ジョブオプションを使用してスケジュールを実行すると、トレースをアクティブにできません。(02221222)
RC-2678	WAR ファイルが WebSphere で展開されている場合、ibi™ WebFOCUS® ReportCaster で、ibi™ WebFOCUS® ReportCaster WSDL の FileUploadException エラーが発生します。(02200810)
RC-2630	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster で ibi™ WebFOCUS® ReportCaster スケジュールの有効期限が 10 年以上の日付に設定されている場合、ReportLibrary の有効期限に「なし」と表示されます。(02191213)
RC-2564	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster で [ReportCaster 最大接続数 (スレッド)] 設定が無視されます。(02177998、02186241、02197537、02217163)
RSTY-2508	ibi™ WebFOCUS® の PDF に、CRLF HEXBYT 13/10 を使用する Unicode が含まれている場合、文字列の末尾に長方形のボックスが表示されます。(02216862)
RSTY-2503	ibi™ WebFOCUS® で MISSING ON および HEADALIGN=BODY を指定し、XLSX AnV フォーマットを使用した場合、NODATA の指定にかかわらず、実際の V の長さに続いて、MISSING のピリオド (.) が表示されます。(02207120)
RSTY-2494	XLSX で、HEXBYT サブルーチン関数の ASCII コード 9 が四角いボックスとして表示されます。(02207195)
RSTY-2449	ibi™ WebFOCUS® で、複数のグラフとレポートを含む特定の XLSX ドキュメントでは、ワークシート上のすべてのグラフに対して壊れたイメージフレームが生成されます。(02244626)
RSTY-2429	ibi™ WebFOCUS® で、PDF ファイルの改ページが機能しません。(02170873)

キー	概要
RSTY-2428	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.1.05M と 9.1.1 で、PDF ファイルのサイズがおおよそ 1 キロバイト異なります。(02170868)
RSTY-2358	ibi™ WebFOCUS® で Microsoft Office 2021 はサポートされていません。(02121734、02228126)
SRVADPT-2978	実フィールドにリンクされていない、SQL 関数を使用する DEFINE フィールドを使用すると、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server が動作を停止します。(02235390)
SRVADPT-2963	日本語環境で日付タイプの項目を含むデータをアップロードすると、データ統計を実行することができません。(02228649)
SRVADPT-2954	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.07.28.07 でマルチテナント環境を使用する場合、ログイン後にテナントエージェントが動作を停止します。(02211516)
SRVADPT-2937	Snowflake Cloud Data Warehouse アダプタを使用してシノニムを作成すると、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server エージェントが動作を停止します。(02232396、02232451、02232703、02233246)
SRVADPT-2885	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.02 からバージョン 8.2.07.28 にアップグレード後、特定の日付 2023/07 にフィルタを設定できません。(02218721)
SRVADPT-2879	Google BigQuery アダプタで、テーブルから完全なデータが返されません。(02202940)
SRVADPT-2873	Tableau から ibi™ WebFOCUS® Open Visualization を介して 2 バイト文字データに接続すると、データが破損します。(02221665)
SRVADPT-2872	Fixed-Format および Delimited Files アダプタを使用してバージョン 8.2.06 で作成されたマスターファイルをバー

キー	概要
	ジョン 8.2.07 以降にマイグレートすると、異なる結果が表示されます。(02227365)
SRVADPT-2843	フローで BigQuery のソースとターゲットを使用する場合、ロードプロセスに 130,000 件以上のレコードが含まれていると、エージェントが強制終了されたことを示すエラーメッセージが表示されます。(02210488、02220898)
SRVADPT-2840	PeopleSoft アダプタでセキュリティの再同期が実行されると、HTTP リスナが機能しなくなります。(02224233)
SRVADPT-2821	SQL Server Analysis Services Tabular Data Model アダプタを使用して双方向 (ブリッジ) JOIN を実行する場合、JOIN の両側でフィールドを使用するプロシジャが失敗します。(02208600)
SRVADPT-2801	ibi™ WebFOCUS® Client アダプタのシノニムを作成する場合、[DBMS オブジェクトの表示] オプションに、利用可能なシノニムの一部が表示されません。(02213754、02208835)
SRVADPT-2799	MySQL クライアント 8.0.x をインストール後、デフォルト設定でローカルファイルのロードが無効になるため、バルクロードに失敗します。(02211342)
SRVADPT-2776	ibi™ WebFOCUS® Designer を使用して SQL Server にデータをアップロードする場合、Microsoft SQL Server 2012 Native Client がインストールされていないと、[既存データへマージ] 機能が期待どおりに動作しません。(02179436)
SRVADPT-2773	バージョン 8.2.07.28.13 から 9.2.1 にマイグレートすると、RedShift アダプタのマスターファイルに SQL パススルーを使用するプロシジャにより、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server エージェントが応答しなくなります。(02215693)

キー	概要
SRVADPT-2772	ibi™ WebFOCUS® Client をバージョン 8.2.01 から 8.2.07.28 にアップグレードすると、実稼働レポートの生成により多くの DBMS 時間が必要になり、出力ファイル (xlsx) が生成されません。 (02212446)
SRVADPT-2754	REST アダプタを使用して JSON 本文を渡すと、エスケープ文字 (¥n) が改行文字 (n) に変換されますが、これをアダプタによって呼び出される SMS サービスで使うことができません。 (02186374)
SRVADPT-2752	BigQuery パススルーリクエストが異なる場合、出力結果も異なります。 (02210488、02195419、02202940、02220898)
SRVADPT-2738	SQL Server Analysis Services Tabular Data Model アダプタを使用して双方向 (ブリッジ) JOIN を実行する場合、JOIN の両側でフィールドを使用するプロシジャが失敗します。 (02208600、02220874)
SRVADPT-2730	HOLD ファイルを SAP 汎用モジュールに結合するプロシジャを実行すると、エラーメッセージが生成されます。 (02199809)
SRVADPT-2728	SAP HANA アダプタで、JDBC の SQL クエリプランが ODBC の SQL クエリプランと異なります。 (02207697)
SRVADPT-2688	ODATA v4 リクエストを生成する一時項目の処理が改善されました。 (02200674)
SRVADPT-2684	BigQuery パススルーリクエストが異なる場合、出力結果も異なります。 (02195419)
SRVADPT-2671	データの定義 (Oracle データベーステーブルのカラムデータ長) がバージョン 8.1.05 と 9.1.0 で異なるため、Oracle (FOC1426) DATA ELEMENT VALUE TOO BIG FOR SEGMENT/FIELD with MISSING=ON メッセージが表示されます。 (02183737)

キー	概要
SRVADPT-2663	ibi™ Data Migrator で NULL 値を処理すると、Web サービスが失敗します。(02201248)
SRVADPT-2632	ibi™ Data Migrator で、バージョン 8.2.06 から 9.1.1 にアップグレード後、シノニムに DB_INFILE フィルタが含まれているフローを実行すると、実行中のジョブが終了します。(02196320)
SRVADPT-2611	ビジネスビューのソート順で NULL 値を使用した場合、誤った結合結果が生成されます。(02195044)
SRVADPT-2591	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.07.28.14 で、ローカル一時テーブルの PERSISTENCE VOLATILE が Snowflake に実装されていないため、マイグレートに失敗します。(02195158)
SRVADPT-2589	i5 オペレーティングシステムで、同一のプロシジャを 2 回目に実行すると Db2 のパフォーマンスが低下します。(02180813)
SRVADPT-2588	ibi™ Data Migrator で、大規模な JOIN を含むデータフローが動作を停止します。(02194707)
SRVADPT-2572	データの定義 (Oracle データベーステーブルのカラムデータ長) がバージョン 8.1.05 と 9.1.0 で異なるため、Oracle (FOC1426) DATA ELEMENT VALUE TOO BIG FOR SEGMENT/FIELD with MISSING=ON メッセージが表示されます。(02183737)
SRVADPT-2565	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.06 から 9.2.0 にアップグレード後、レポートの実行時にエラーメッセージが表示されます。(02192002)
SRVADPT-2555	XML アダプタのマスターファイルを作成する際に、ローカルドキュメントプロパティが更新されない場合、ブランクの XML ファイルが作成されます。(02185844)

キー	概要
SRVADPT-2547	DB2 TIMESTAMP カラムの HOLD ファイルフォーマットが A29 になりました。(02186308、02186425)
SRVADPT-2543	フローの実行時に LAG 関数を使用すると、エラーメッセージが表示されます。(02181627)
SRVADPT-2533	REST アダプタで連鎖認証を構成すると、トークンの送信に失敗します。(02186345、02186875)
SRVADPT-2525	Oracle アダプタと Snowflake Cloud Data Warehouse アダプタで、NULL 値のソート順が異なります。(02163627、02180252)
SRVADPT-2521	Google BigQuery アダプタで、単一のリージョンで非同期クエリを実行すると、エラーが発生する場合があります。(02180638、02197460)
SRVADPT-2508	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server をバージョン 8.1.05M から 8207.28.09 にマイグレートすると、Netezza ソースデータベースへの汎用 ODBC 接続を使用するクラスタマスターファイルの実行に時間がかかります。(02180940)
SRVADPT-2487	HP Vertica アダプタで、Designer の [DEFINE] タブに誤った UTF-8 文字列が表示されます。(02174890)
SRVADPT-2485	Windows x86_64 システムで、マスターファイルで日付が USAGE=MDYY として定義されている場合、サードパーティ製品との統合のために ibi™ WebFOCUS® ODBC Client (setup_odbc_client) を展開することができません。(02177954)
SRVADPT-2452	2 つの異なるデータソースを結合する場合、SQL JOIN は、効率的な処理である WHERE 句を使用した単一の SELECT として最適化されません。(02160916)
SRVADPT-2448	Amazon Athena アダプタのマスターファイルの FIELDNAME の値にマルチバイト文字が含まれている場合、

キー	概要
	レポートの実行時にエラーメッセージが表示されます。 (02168645)
SRVADPT-2437	Microsoft SQL Server アダプタを OLEDB または ODBC で使用し、アクセスのテストや SQL Server バルクロードのテストを目的として Active Directory ユーザの信頼済み ID を渡そうとすると、エージェントが応答を停止します。 (02167066)
SRVADPT-2305	HP Vertica アダプタを使用して、オーバーフロー桁が存在する数値データをアップロードすると、エラーメッセージが表示されます。 (02144706)
SRVADPT-2232	GIS_REVERSE_COORDINATE 関数で MATCH_ADDRESS コンポーネントを使用すると、地理コンポーネントの値が切り捨てられます。 (02132315)
SRVADPT-2142	REST アダプタを使用して SharePoint のシノニムを作成すると、データセット全体が取得されません。 (02112956)
SRVADPT-2065	OData アダプタで、拡張コレクションのフィルタが失敗します。 (02092518)
SRVADPT-2033	Hyperstage PG アダプタのシノニムを作成すると、シノニム候補のリストにビューが表示されません。 (02094771)
SRVADPT-2025	Cloudera Impala to Access Data Managed by Hadoop アダプタでは、複数の DISTINCT 集計はサポートされていません。 (02091203)
SRVADPT-1887	AIX オペレーティングシステムで、Kerberos 認証を使用して Cloudera Impala to Access Data Managed by Hadoop アダプタの接続構成が失敗します。 (02032102)
SRVADPT-1858	ibi™ WebFOCUS® Designer で MSSQL ビットデータタイプにフィルタを設定すると、エラーメッセージが表示されます。 (02062732)

キー	概要
SRVADPT-1800	バージョン 8.2.07.28 以降の XLSX ファイルで、NULL フィールドが '' (ブランク) として処理されます。 (02054732、02058112)
SRVADPT-1684	DTRUNC 関数の日付期間 WEEK および WEEK_END が、PostgreSQL アダプタ、Greenplum アダプタ、Hyperstage PG アダプタの BY 句に 1 日として追加されます。 (02037169)
SRVADPT-1616	XML アダプタのシノニムを作成すると、エラーメッセージが表示されます。 (02032957)
SRVADPT-1563	Sybase アダプタで、Trim、TRIMV、TRIM_ が最適化されません。 (02030775)
SRVADPT-1532	ibi™ Data Migrator で、Parquet フォーマットのファイルを S3 バケットに書き出すフローを作成すると、エージェントがクラッシュします。 (02031375)
SRVADPT-1506	JOIN 構文で DEFINE を使用すると、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server エージェントが機能しなくなります。 (02030424)
SRVADPT-1001	シノニムエディタの [DEFINE] ダイアログボックスの [式の確認] オプションで、不均衡な IF THEN ELSE 構造が認識されません。 (02029087)
SRVADPT-486	Python アダプタのシノニムを作成すると、エラーメッセージが表示されます。 (190716122)
SRVADPT-307	IIAS/Db2 Warehouse のサポートが追加されました。 (180502002、180926149、180321091)
SRVDA-2513	マスターファイルが APP MAP アプリケーション上に存在する場合、グラフのオートドリルダウンがアクティブになりません。 (02224338)

キー	概要
SRVDA-2496	[データの取得] ページで Excel を使用してデータをアップロードする場合、選択した設定がシノニムに反映されません。(02233933)
SRVDA-2490	アプリケーションディレクトリでフォルダのプロパティをクリック後、[キャンセル] ボタンが表示されないため [プロパティ] ウィンドウを閉じることができなくなります。(02229866)
SRVDA-2482	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server コンソールの [リモートサーバの設定] ダイアログボックスに、[キャンセル] ボタンが表示されません。(02187772)
SRVDA-2481	[CODE_PAGE] を [273-IBM EDCDIC Germany F.R./Austria] に設定すると、 java.lang.NullPointerException エラーが表示されます。(02225168)
SRVDA-2480	ibi™ WebFOCUS® Designer で、REST アダプタを使用して作成されたシノニムを開くと、エラーメッセージが表示されます。(02231354)
SRVDA-2479	ibi™ WebFOCUS® Designer の [データ] タブでカラム、エイリアス、高度な式に同じ名前が指定されると、エラーメッセージが表示されます。(02223141)
SRVDA-2475	ibi™ WebFOCUS® Designer のビジネスビューで属性を非表示にすると、[プロパティ] ウィンドウが表示されます。(02229891)
SRVDA-2464	WebFOCUS ibi™ WebFOCUS® Hub で、データのアップロード時に小文字のフィールド名を使用すると、挿入される式に反映されません。(02223713)
SRVDA-2454	ibi™ WebFOCUS® Designer の [データ] タブの [タイプ] フィールドで UNION を実行すると、エラーメッセージが表示されます。(02226447)

キー	概要
SRVDA-2421	ibi™ WebFOCUS® Designer で DBA を使用すると、ビジネスビューのロードが遅くなる場合があります。(02221359)
SRVDA-2420	ibi™ WebFOCUS® Designer で、フィールドで ACCEPT を使用するビジネスビューを開くと、エラーが表示されます。(02221114)
SRVDA-2403	ibi™ WebFOCUS® Designer の [DEFINE] タブに、不明なエラーメッセージ (IA_230620_041227-1) が表示されます。(02190000)
SRVDA-2365	Web コンソールのシノニムエディタで条件式を指定後、[終了してフルコンソールに戻る] ボタンをクリックして [破棄] を選択した場合、指定した条件式は破棄されずに保存されます。(02206571)
SRVDA-2363	Designer のビジュアライゼーションで、ユーザ ID が長すぎる場合、SQL エディタでエラーが発生します。(02205663、02206292)
SRVDA-2350	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist の DEFINE 関数で EDIT 関数を使用すると、エラーメッセージ表示されます。(02028880)
SRVDA-2342	ビジュアライゼーションを作成する際に、[永続抽出のステージング (ターゲット)] を作成し、同じファイル名に置き換えて保存すると、データフローが削除されます。(02191372、02189732、02206574)
SRVDA-2331	ibi™ WebFOCUS® Designer で、ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.06 から ibi™ WebFOCUS® 9.2.0 にマイグレートすると、BV_NAMESPACE=ON に設定されたビジネスビューでエラーメッセージが表示されます。(02189676)
SRVDA-2325	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist および ibi™ WebFOCUS® Designer で、DBA に RESTRICT 句を使用すると、TITLE および DESCRIPTION のコンテンツは表示されず、代わり

キー	概要
	に FIELDNAME が表示されます。(02173015)
SRVDA-2318	ibi™ WebFOCUS® Designer で、複数のプライマリキーを持つマスターファイルを結合すると、キーが単一キーに変更されます。(02190481)
SRVDA-2316	ibi™ WebFOCUS® Designer で、シノニムに複数の結合キーを指定すると、FOC1400 エラーおよび FOC1500 エラーが表示されます。(02189175)
SRVDA-2271	マルチファクトマスターファイルで、T FILE と GRAPH FILE の動作が異なります。(180608004)
SRVDA-2246	ibi™ WebFOCUS® Designer でビジュアライゼーションを作成し、日本語の文字を使用して名前を付けると、エラーメッセージが表示され、コンテンツが作成されません。(02187142)
SRVDA-2238	Python アダプタを使用してシノニムを作成する際、シノニム候補ファイルに日付フィールドが含まれている場合、エラーメッセージが表示されます。(02029601)
SRVDA-2221	ビジネスビューをはじめて作成した後に定義すると、フローに関連付けられているメタデータエディタによって、ビジネスビューに ALIAS=ABC、BELONGS_TO_SEGMENT=ABC が誤って挿入されます。(02029527)
SRVDA-2217	PostgreSQL アダプタで、データベースユーザ名は最大値の 48 文字を超えることはできません。(02027270)
SRVDM-887	テーブルが NULL 値を受け入れないよう構成されている場合に NULL 値を含むレコードを挿入しようとしても、Microsoft SQL Server アダプタは、Windows オペレーティングシステム上でエラーを表示しません。(02204636)
SRVDM-877	ibi™ Data Migrator で HP Vertica アダプタ以外のアダプタを使用してマスターファイルを作成し、フローを保存し

キー	概要
	た場合、データフローによって、バルクロードのパラメータが自動的に修正されます。(02200151)
SRVDM-866	拡張セキュリティオプションをオンにしてデータ管理コンソールにログインすると、接続を確立できないことを示すメッセージが生成されます。(02192967)
SRVDM-855	ibi™ WebFOCUS® バージョン 7.7.09M からバージョン 9.0.1 にアップグレード後、ETL エージェントが機能しなくなります。(02194528)
SRVDM-851	ibi™ Data Migrator で、csv 出力ファイルの列見出しにブランクやスラッシュ (/) など、その他の文字が含まれている場合、ターゲットのシノニムフィールド名で無効として表示されます。(02192210)
SRVDM-840	ibi™ Data Migrator で、JSON ファイルでピリオド (.) として設定された値が NULL としてインポートされます。(02185896)
SRVDM-811	FPRINT 関数で、An フィールドの AnV フォーマットが受容されません。(02170093)
SRVDM-792	DBMS SQL フロー内で &&CM__REQUEST をテストすると、エラーメッセージが表示されます。(02165800)
SRVFOC-1492	FORMAT COMT で出力した CSV ファイルのタイトルの末尾から二重引用符 (") が欠落します。これは、タイトルの合計長が 4096 バイトの場合に発生します。(02213083)
SRVFOC-1485	データタイプを文字 (A1V) としてフィールドを定義すると、誤った出力が取得されます。ただし、VarChar (A1) データタイプで定義すると、結果は期待どおりになります。(02213231)
SRVFOC-1450	ACROSS 句および COMPUTE フィールドで TABPAGENO が参照されている場合、ibi™ FOCUS® がクラッシュします。

キー	概要
	(02210248)
SRVFOC-1432	xFocus ファイルのサイズが 32 ギガバイトを超える場合、ファイル処理に失敗します。(02201006)
SRVFOC-1396	DT_CURRENT_DATETIME 関数を使用して DATE フィールド (YYMD) に対して比較を実行する場合、製品のバージョンによって異なる結果が生成されます。
SRVFOC-1395	.fex ファイルで ON TABLE ROW-TOTAL 関数を使用し、出力フォーマットを .xlsx に設定した場合、Excel 出力の破損またはエージェントのクラッシュエラーが発生する可能性があります。(02178956)
SRVFOC-1364	HEXBYT 関数を含むコードを実行すると、SJIS (942) と Unicode (65001) で異なる結果が取得されます。(02182643)
SRVFOC-1351	バージョン 8.1.05 と 9.1.1 で FTOA 関数の差異を検査した結果、350 個以上の .fex ファイルでは FTOA 関数を使用し、そのうちのいくつかは NULL であることが判明しました。また、およそ 200 個の標準 .fex ファイルで、FTOA 関数は一時項目とデータベースカラムの両方で使用され、その一部は NULL の可能性があります。 さらに、行 30969 から 30973 のカラム S (Grant Date FV) を確認すると、バージョン 8.1 では 0.00 と表示されていた特定の値は、バージョン 9.1 ではブランクになっています。(02189381)
SRVFOC-1330	選択条件付きの REBUILD REORG DUMP コマンドを使用して ibi™ FOCUS® ファイル履歴の保守を行う場合、その結果ファイルを REBUILD REORG プロセスでロードすることができます。ただし、これらのファイルをバージョン 9.1 で使用して ibi™ FOCUS® データベースを再作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。(02184402)

キー	概要
SRVFOC-1317	インデックス付きの ONLINE で始まる ibi™ FOCUS® ファイルを作成すると、エラーが発生します。(02182252)
SRVFOC-1298	バージョン 8.2.07.28 から 9.0.4 にアップグレード後、JO という JOIN 名のセグメント名が省略されている場合、フィールド名が認識されないことを示すエラーメッセージが表示されます。(02171975)
SRVFOC-1277	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.0.4 で、ファイル名が指定されていない場合、省略されたセグメント名が認識されません。(02208078、02190393、02202902)
SRVFOC-1247	合計計算に使用するデータが存在しない場合、ibi™ FOCUS® レポート中間脚注の TOT 接頭語に MISSING の代わりに 0 (ゼロ) が表示されます。(02166432)
SRVFOC-1239	日本語の日付時間リテラルを記述する場合、異なる構成要素間に区切り文字を使用しないと、リテラルの解析に失敗します。(02164025)
SRVFOC-1236	2 つの HOLD ファイル間で JOIN を実行しようとする、短縮パスに無関係なデータが表示されます。(02159228)
SRVFOC-1233	.foc ファイルに対してクエリを実行すると、COMPUTE フィールドのために、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server エージェントがクラッシュします。(02071542)
SRVFOC-1193	バージョン 9.1.0 のサーバコンソールで USE コマンドと MODIFY コマンドを使用してプロシジャコードを実行しようとする、エラーが発生します。(02155590)
SRVFOC-1181	データベースプロシジャを使用して 2 つのテーブルで LEFT JOIN を実行すると、テーブルのミッシング値が原因で失敗します。(02148999)
SRVRM-254	バージョン 9.2.2 にアップグレード後、リソースマネージャがアップグレードに失敗します。(02220312、

キー	概要
	02218730、02219101、02219989、02222572、02220088)
SRVRM-252	ibi™ WebFOCUS® Hub を使用して大規模なレポートを生成すると、Active HTML Report が破損します。 (02208078、02190393、02202902)
SRVRM-238	Resource Analyzer で、Excel レポートのドリルダウンリンクが正しくありません。(02159753、02202902)
SRVWKSPC-3593	FOCUS ファイルの -REMOTE BEGIN/END 処理内部で DATE フィールドのフォーマットを変更する場合、リモートサーバでフォーマット変換エラーが発生します。(02231451)
SRVWKSPC-3591	foccache_maxage に到達しても、foccache フォルダが削除されません。(02220601、02235537)
SRVWKSPC-3577	ibi™ WebFOCUS® Reporting Serverで AD/LDAP がプライマリプロバイダとして構成されている場合、正しいグループまたはロールが適用されません。(02228031)
SRVWKSPC-3574	ERROROUT ON コマンドおよび TRACEON=SQLAGGR コマンドを実行すると、一般的なサーバエラーが発生します。 (02226598)
SRVWKSPC-3563	ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.06 から 9.2.1 へアップグレード後、権限が PRRUN に設定されている場合、ECHO コマンドでコード実行が表示されません。(02225280)
SRVWKSPC-3529	マスターファイル名に 2 バイト文字を使用して JOIN を実行する場合、2 番目のマスターファイルを選択後、2 番目のマスターファイルのフィールドがリストされません。 (02157322)
SRVWKSPC-3493	アプリケーションのコンテンツをインデックスするために使用されるプロシジャの GOTO ステートメントでエラーが発生します。(02204766)

キー	概要
SRVWKSPC-3487	IMS が再起動されると、メインフレームの PDS 上で IMS リスナがクラッシュします。(02218731)
SRVWKSPC-3448	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server で、[ローデータのアップロード] オプションを使用して Excel ファイルをアップロードすると、警告メッセージが表示され、アップロードに失敗します。(02212537)
SRVWKSPC-3418	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.2.1 で、Solr を有効にした ibi™ WebFOCUS® Client で APP COPYF コマンドを実行する際に APP SET METALOCATION_SAME が OFF に設定されている場合、edaprint.log ファイルにエラーメッセージが生成されます。(02209845)
SRVWKSPC-3411	HTMTABLE リクエストで出力行がゼロ (0) のプロシジャを実行すると、アプリケーション下の同名の HTML ファイルが削除されます。(02203901)
SRVWKSPC-3401	homeapps/ <i>userid</i> への APP MAP がユーザプロファイルに存在する場合、homeapps がアプリケーションディレクトリごとに繰り返し表示されます。
SRVWKSPC-3385	バージョン 9.2.1 にアップグレード後、connection_limit に達すると、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server エージェントが solrfls で応答を停止します。(02207947)
SRVWKSPC-3346	バージョン 9.0.0 以降、ユーザプロファイルで定義された APP MAP および APP PREPENDPATH ステートメントで、homeapps または myhome ディレクトリを使用する必要があります。
SRVWKSPC-3343	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server で、[カラムの選択] 設定が保存されません。(02199984)
SRVWKSPC-3305	デフォルトレポートで、SCHEDULER リスナで dfm_maxoutput = 1024 を設定してこの制限値を超えるレポートを実行した場合、レポートのステータスが「実行中」の

キー	概要
	ままになります。(02188542)
SRVWKSPC-3301	ibi™ WebFOCUS® で、admin.cfg ファイルに多数のユーザグループが存在する場合、レポートまたはポータルの実行時のパフォーマンスに影響する可能性があります。 (02168424)
SRVWKSPC-3296	EX CMASAP を使用すると、EDAPTH がクラッシュします。(02206197)
SRVWKSPC-3260	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server を z/OS 上で実行する場合、EDAPRINT の概要に不明なエラーメッセージが表示されます。(02193040)
SRVWKSPC-3256	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server で、無効またはオフラインの DSML により、フローを開いたり新しいフローを作成したりする際に、遅延が発生します。(02193728)
SRVWKSPC-3205	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server バージョン 9.2.0 がインストールされた Windows オペレーティングシステムで、同一の EDHOME ディレクトリを共有する代替構成をインストールしようとする場合、9.2.0 インストールプログラムで、インストール済みの ibi™ WebFOCUS® Reporting Server バージョン 9.2.0 が認識されません。 (02187296)
SRVWKSPC-3176	レポートを生成すると、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server エージェントがクラッシュします。(02182020)
SRVWKSPC-3122	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server ブラウザインターフェースで [ディスクへのアプリケーションマッピング] オプションを使用してフォルダをマッピングする場合、マッピングするフォルダに DBCS 文字が含まれていると、マッピングフォルダが無効 (SJIS) であることを示すメッセージが表示されます。(02180716)
SRVWKSPC-3121	ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.1.1 で、ibi™ WebFOCUS®

キー	概要
	Reporting Server アクセスコントロールテンプレートが Unicode サーバでは機能しません。(02175546)
SRVWKSPC-3109	[ディファードステータス] ダイアログボックスで [リフレッシュ] ボタンを繰り返しクリックすると、TCP/HTTP リスナのメモリが破損し、リスナがクラッシュします。(02167983)
SRVWKSPC-3108	dfm_dir ディレクトリに多数のファイルが保存されている場合、応答の遅延が増加します。(02173572)
SRVWKSPC-3090	Python 3.9 の場合、Python アダプタを RedHat 9 オペレーティングシステムで使用するとエラーが発生します。(02193368)
SRVWKSPC-3082	CHAR_LENGTH 関数は、SJIS コードページの文字列の長さをバイト単位で返します。(02170812)
SRVWKSPC-3063	ibi™ WebFOCUS® Designer で、リクエストが FOCCACHE ファイルに保存されているデータを使用する場合、リクエストを再び開くことができません。(02187595)
SRVWKSPC-3062	Amazon AWS S3 アダプタへの接続をテストすると、エラーメッセージが生成されます。(02167785、02161803)
SRVWKSPC-2978	ibi™ WebFOCUS® Reporting Server ブラウザインターフェイスで、[Reporting Server オンラインヘルプ] の [リリースノート] オプションを選択すると、インストールされている ibi™ WebFOCUS® のバージョンよりも古い PDF が表示され、サポートされているアダプタとサポートされているオペレーティングシステムのリストが表示されません。(02159862)
SRVWKSPC-2879	[ディスクへのアプリケーションマッピング] (APPMAPP) を使用して新しいアプリケーションディレクトリを作成した場合、EDASPROF.PRF に複数の二重引用符 (") が書き込まれます。(02156473)

キー	概要
SRVWKSPC-2015	z/OSで、EDAPRINT の概要に不明なエラーメッセージが表示され、サーバとメインフレームの接続が動作不能になります。(02056098、02194880)
SRVWKSPC-841	トレースオプションをオンにしてポータルを実行すると、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server エージェントがクラッシュします。(02029280)
VIZ-993	パレートグラフで、ツールヒントとデータラベルに誤った値が表示されます。(02224743)
VIZ-974	ビジュアライゼーションで、幅と高さを手動で設定することができません。(02219982)
VIZ-954	ガントチャート拡張を使用する一部のグラフで、不適切なエラーが発生または表示されます。(02201802)
VIZ-946	ibi™ WebFOCUS® ReportCaster でレポートを実行した場合と Email でスケジュールした場合で、異なるフォーマットのデータラベルが表示されます。(02182353)
VIZ-932	ibi™ WebFOCUS® グラフで自動リフレッシュ機能を有効にした場合、パフォーマンスの問題が発生し、長時間の経過後にクラッシュします。(02193147)
VIZ-914	一部の積み上げ棒グラフで、積み上げ合計ラベルが欠落するか、正しく表示されません。(02162582、02214280)
VIZ-912	ibi™ WebFOCUS® で、モバイルデバイスまたはエミュレータでマルチレイヤマップを表示すると、マーカーまたはポリゴンをタップしてもツールヒントが表示されません。(02178604)
VIZ-900	複合棒グラフ、折れ線グラフ、または面グラフを作成する場合、グラフの特定の領域をポイントしても、ライザのドリルダウンが使用できません。(02176829)

キー	概要
VIZ-885	ibi™ WebFOCUS® InfoAssist で作成したメータグラフに、プロシジャで指定されていない余分なセグメントが含まれます。(02166144)
VIZ-839	日付フィールドにミッシング (NULL) データが含まれている場合、ダイグラフ拡張が正しくロードされません。(02148628)
VIZ-835	時間軸またはログスケールライングラフに missingDataMode プロパティを設定すると、エラーが発生します。(02145158)
VIZ-831	iPad で棒グラフを実行すると、長いデータラベルが重なる可能性があります。(02142396)
VIZ-713	円グラフで、M (百万) 記号が値とともに表示されません。(02064548)
VIZ-200	データグリッドグラフで、条件付きスタイル設定が動作しません。(02029073、02030790、02225220)

既知の問題

このバージョンの ibi™ WebFOCUS® で既知の問題は次のとおりです。

キー	概要と回避策
IBIAS-8717	概要 ibi™ WebFOCUS® App Studio で [オンラインヘルプ] をクリックすると、無効なヘルプページが開く場合があります。 回避策 ibi™ WebFOCUS® App Studio ドキュメントサイト に移動し、[Download All Docs] ボタンをクリックします。.ZIP ファイルをローカルマシンに保存します。ダウンロードした .ZIP ファイルを解凍し、アクセスできる場所に保存します。
IBIUX-2228	概要 バージョン 9.3.0 では、レスポンスオートプロンプトテンプレートと、このテンプレートから作成したカスタムオートプロンプトテンプレートで、表示の問題が発生する可能性があります。 回避策 一時的な解決策として、Designer のオートプロンプトテンプレートを利用します。

バージョンおよびビルド情報

ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.3.0 の関連情報は、各トピックから参照できます。

リリース日	ビルド番号	WebFOCUS Reporting Server
2024 年 4 月	wf040624a	930 Gen 2957
	wi040624a	
	as040224b	

ブラウザ情報

ここでは、ibi™ WebFOCUS® の各バージョンで使用可能な Web ブラウザについて説明します。

- 弊社では、ブラウザベンダーのサポートポリシーを評価し、最新バージョンが使用可能になり次第、随時新しいブラウザバージョンを動作保証します。
- 以下のブラウザベンダー使用要件を参照して、最新の Web ベース機能を提供する Web 標準がサポートされ、セキュリティの保証されたブラウザを使用することをお勧めします。

サポート対象の Web ブラウザ

バージョン	Google Chrome	Firefox	Microsoft® Edge® (ibi™ WebFOCUS® のみ)
9.3.0	バージョン 122	バージョン 123	バージョン 122
9.2.3	バージョン 120	バージョン 121	バージョン 120

バージョン	Google Chrome	Firefox	Microsoft® Edge® (ibi™ WebFOCUS® のみ)
9.2.1	バージョン 114	バージョン 115	バージョン 114
9.2.0	バージョン 111	バージョン 111	バージョン 111
9.1.2	バージョン 114	バージョン 113	バージョン 114
9.1.1	バージョン 109	バージョン 108	バージョン 109
9.1.0	バージョン 106	バージョン 105	バージョン 106
9.0.4	バージョン 108	バージョン 107	バージョン 108
9.0.3	バージョン 104	バージョン 103	バージョン 104
9.0.2	バージョン 102	バージョン 100	バージョン 102
9.0.1	バージョン 99	バージョン 98	バージョン 99
9.0.0	バージョン 98	バージョン 96	バージョン 98
8.2.07.28	バージョン 92	バージョン 90	バージョン 92 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.27	バージョン 89	バージョン 86	バージョン 89 (ibi™ WebFOCUS®)

バージョン	Google Chrome	Firefox	Microsoft® Edge® (ibi™ WebFOCUS® のみ)
8.2.07.26	バージョン 88	バージョン 85	バージョン 87 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.25	バージョン 87	バージョン 84	バージョン 87 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.24	バージョン 87	バージョン 83	バージョン 87 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.23	バージョン 87	バージョン 83	バージョン 86 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.22	バージョン 87	バージョン 82	バージョン 86 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.21、 8.2.07.20、 8.2.07.19	バージョン 86	バージョン 81	バージョン 85 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.18、 8.2.07.17	バージョン 85	バージョン 80	バージョン 85 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.15、 8.2.07.16	バージョン 84	バージョン 79	バージョン 83 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.14、 8.2.07.13、 8.2.07.12	バージョン 83	バージョン 77	バージョン 83 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.11	バージョン 83	バージョン 76	バージョン 81 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.10、 8.2.07.09	バージョン 81	バージョン 75	バージョン 81 (ibi™ WebFOCUS®)

バージョン	Google Chrome	Firefox	Microsoft® Edge® (ibi™ WebFOCUS® のみ)
8.2.07.08	バージョン 81	バージョン 75	バージョン 80 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.07	バージョン 80	バージョン 74	バージョン 80 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.06	バージョン 80	バージョン 73	バージョン 80 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.05	バージョン 80	バージョン 73	バージョン 44 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.04、 8.2.07.03、 8.2.07.02	バージョン 79	バージョン 73	バージョン 44 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07.01	バージョン 78	バージョン 70	バージョン 44 (ibi™ WebFOCUS®)
8.2.07	バージョン 77	バージョン 69	バージョン 44 (ibi™ WebFOCUS®)

- バージョン 8.2.07.27.0 以降、ibi™ WebFOCUS® の新しいリリースでは、Microsoft Internet Explorer 11 が動作保証済みブラウザとしてサポートされません。この変更は、2021 年 4 月 1 日より有効です。
- Internet Explorer 互換モードはサポートされません。
- Firefox ブラウザバージョンサポートについての詳細は、Mozilla から公開されている次の Web サイトを参照してください。https://wiki.mozilla.org/Release_Management/ESR_Landing_Process
- ibi™ WebFOCUS® で作成した単純な HTML レポートは、任意のブラウザで表示することができます。
- 一部のブラウザバージョンで使用可能な組み込み PDF ビューアを使用する際に、ドリルダウンリンクが機能しません。ブラウザの構成情報を確認し、関連するコンテンツタイプのアプリケーションオプション設定を変更することで、ブラウザで自動的に

Adobe Reader が起動するよう調整します。

- Acrobat Reader DC は動作保証されています。Adobe XI および Above X はサポートされています。
- 特定の状況下では、Microsoft Internet Explorer でページを表示する際に、Web ページで指定されたモードと異なるドキュメントモードでページが強制的に表示される場合があります。詳細は、「[Internet Explorer Browser Document Compatibility](#)」を参照してください。
- クライアントのブラウザに基づいてイメージ埋め込み機能を使用することにより、HTML レポート、DHTML レポート、DHTML 複合レポートでのイメージおよびグラフの表示がサポートされます。Microsoft Internet Explorer ブラウザで生成される出力、またはブラウザが不明な状況 (例、ibi™ WebFOCUS® ReportCaster から配信されるレポート) では、Web アーカイブファイル (.mnt) を作成することでイメージが組み込まれます。その他すべてのブラウザでは、イメージは、生成される .html ファイル内で base64 エンコードされます。
- 特定のブラウザでは、独自の最大バイト数をツールヒントのテキストに適用するため、長いツールヒントは末尾が切り取られて表示される場合があります。たとえば、Microsoft Internet Explorer では、この最大バイト数は 512 バイトですが、Google Chrome では 1024 バイトです。

サポート対象のモバイルブラウザ

ibi™ WebFOCUS® バージョン	iOS バージョン	ブラウザ	ibi™ WebFOCUS® Mobile App バージョン
バージョン 9.1.0 以降	iOS バージョン 15	Safari	バージョン 4.0.4
バージョン 9.1.0 以降	iOS バージョン 15	Chrome	バージョン 4.0.4
バージョン 9.1.0 以降	iOS バージョン 14	Safari	バージョン 4.0.4
バージョン 9.1.0 以降	iOS バージョン 14	Chrome	バージョン 4.0.4
バージョン 9.1.0 以降	Android バージョン 11	Chrome	バージョン 4.0.4

ibi™ WebFOCUS® バージョン	iOS バージョン	ブラウ ザ	ibi™ WebFOCUS® Mobile App バージョン
バージョン 9.1.0 以降	Android バ ージョン 10	Chrome	バージョン 4.0.4

ibi WebFOCUS のアクセシビリティ準拠

ibi™ は、障害あるユーザを含むすべてのユーザにアクセス可能で使いやすく、質の高い製品とサービスを提供します。

アクセシビリティのサポート基準

ibi™ は、次の基準に基づき ibi™ WebFOCUS® のアクセシビリティを確保します。

弊社のアジャイル開発プロセスは、[WCAG 2.1](#) レベル AA、[改定セクション 508](#)、および[欧州規格 EN 301 549](#) の標準およびガイドラインに沿ったアクセシビリティ評価を、設計、開発、テストのすべての段階で取り入れています。コーディングは、HTML、CSS、WAI-ARIA、JavaScript で W3C 標準に準拠しています。

ibi™ は、アクセシビリティ標準およびガイドラインに準拠したアプリケーションの作成が可能なソフトウェアツールを提供することで、顧客のアクセシビリティ目標達成に貢献します。各アプリケーションの実際のアクセシビリティ準拠は、ibi™ ツールの適切な使用、および弊社ソフトウェアと相互運用する他社製ハードウェアおよびソフトウェアのアクセシビリティ準拠によって異なります。

サービスについて、ibi™ は、顧客と協調し、サービス契約に関するアクセシビリティ要件に取り組んでいます。ibi™ は、必要なアクセシビリティ標準およびガイドラインに準拠する適切な作業指示書で、顧客に対してアクセシビリティ要件を求めます。ibi™ は、顧客の要件に特化した COTS 製品のアクセシビリティ機能を提示し、提示された機能を使用して開発を進める前に顧客の承認を取得します。

適合ステータス

ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.1.0 以降は、次のアクセシビリティ標準およびガイドラインに部分的に適合しています。部分的適合とは、コンテンツの一部がアクセシビリティ標準に完全に適合していないことを示します。

標準およびガイドライン	レポート内に記載
Web Content Accessibility Guidelines 2.0	レベル A レベル AA
Web Content Accessibility Guidelines 2.1	レベル A レベル AA
Revised Section 508 standards published 01/18/2017 and corrected 01/22/2018	
EN 301 549 Accessibility requirements suitable for publish procurement of ICT products and services in Europe - V3.1.1.(2019-11)	

アクセシビリティ機能の範囲

ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.07.26 以降では、Designer ページおよび ibi™ WebFOCUS® アクセシブルレポートを含む、アクセシビリティ機能を備えた ibi™ WebFOCUS® の 2 レベル トップナビゲーション V5 ポータルを作成、公開するためのツールとガイダンスを設計者に提供し、エンドユーザによる独自の adhoc クエリおよびレポート作成の実行を可能にします。アクセシビリティ機能には、コンテンツ作成 (開発) および管理インターフェースは含まれません。

ibi™ WebFOCUS® レポートには、次のフォーマットがあります。

- Analytic Document (Active テクノロジ) - AHTML
- Excel - XLSX
- PowerPoint - PPTX
- HTML - 「[Technical Memo 4505](#) - ibi™ WebFOCUS® HTML レポートのアクセシビリティサポート」を参照

アクセシビリティ機能を備えた ibi™ WebFOCUS® レポートは、Web ページまたはアプリケーションから配信、実行できます。Web ページまたはアプリケーションのアクセシビリティ準拠については、設計者が責任を負います。

ibi™ WebFOCUS® バージョン 8.2.07.12 以前の 8.2.07 リリースでは、次の ibi™ WebFOCUS® アクセシビリティ準拠レポートフォーマットがサポートされます。

- HTML - 「[Technical Memo 4505](#) - ibi™ WebFOCUS® HTML レポートのアクセシビリティサポート」を参照

ブラウザ互換性および支援テクノロジー

テストは、さまざまなオペレーティングシステム、ブラウザ、テスト自動化ツール、スクリーンリーダーを使用して実行されました (例、Windows 10 オペレーティングシステム、Google Chrome ブラウザ、NVDA または JAWS 2020 スクリーンリーダー)。

Google Chrome、Firefox、Microsoft Edge、Microsoft Internet Explorer ブラウザについては、ユーザのカスタマイズ、支援テクノロジーおよび他社製拡張機能との統合によりサポートレベルが異なります。

JAWS ブラウザ要件についての詳細は、[Freedom Scientific](#) の Web サイトを参照してください。

テクノロジー仕様

ibi™ WebFOCUS® のアクセシビリティは、次の技術に依存し、Web ブラウザおよび支援テクノロジー、またはユーザの PC にインストールされたプラグインとの特定の組み合わせにより機能します。

- HTML
- WAI-ARIA
- CSS
- JavaScript

上記のテクノロジーは、適用されるアクセシビリティ標準に準拠するために使用されます。

制限事項

ibi™ WebFOCUS® のアクセシビリティ機能を確実に利用できるよう万全を期していますが、一部に制限事項があることも考えられます。アクセシビリティ機能の使用に問題がある場合は、技術サポートに問い合わせてください。また、追加機能に対するアクセシビリティ準拠のリクエストについても、技術サポートに問い合わせてください。

既知の制限事項

- **アクセシビリティ機能** 機能の範囲は、上記の[適合ステータス](#)に記載されているとおりです。
- **非テキストコンテンツ、代替テキスト** ibi™ WebFOCUS® 8.2.07 以降では、コンテンツ作成者が代替テキストを組み込む方法が提供されており、そのコンテンツはスクリーンリーダーによって読み上げられます。ただし、説明的な代替テキストを提供するかどうかはコンテンツ作成者の責任となります。
- **感覚的情報 (ビジュアルイゼーション/グラフ)** アクセシビリティのベストプラクティス準拠は、コンテンツ作成者に委ねられますが、ibi™ WebFOCUS® 8.2.07 以降では、今後のリリースで、ビジュアルイゼーションおよびグラフでの感覚的情報の伝達について、強化された代替方法を提供します。
- **リフロー** データテーブルは、テーブルとして動作し、リフローされません。
- **見出しおよびラベル** ibi™ WebFOCUS® 8.2.07 以降では、適切な見出しおよびラベルを追加する方法をコンテンツ作成者に提供し、このコンテンツは、スクリーンリーダーで読み取られます。ただし、ベストプラクティスの導入によるアクセシビリティの維持は、コンテンツ作成者に委ねられます。
- **一部の言語** 言語は、メタレベルでドキュメントに適用されます。
- **機能的遂行基準 (言語障害、認知障害、学習障害)** ibi™ WebFOCUS® 8.2.07 以降のデータテーブルは複雑であり、拡張機能を提供します。対象ユーザの機能上の要件を特定し、ibi™ WebFOCUS® レポートプロシジャ作成時にこれらの考慮事項を適用することは、コンテンツ作成者の責任です。
- **利用可能な操作の全般 (情報) リスト** V5 ポータル、Designer ページ、Analytic Document (AHTML) では、利用可能な操作は「Ctrl+Shift+F10」を押すとアクセスできます。
- **変更通知** オンラインヘルプの今後のリリースで改善される予定です。
- **製品マニュアル** [オンラインヘルプ] セクションのアクセシビリティは、今後のリリースで改善され、利用可能になります。現在のバージョンでは、次のような問題が発生する可能性があります。
 - 拡大表示での判読性の低下
 - 左側ウィンドウから右側ウィンドウへの移動困難
 - 印刷メニューのポップアップが、Esc キーの使用またはポインタの移動でも閉じることができない

ibi WebFOCUS Client でサポートされるオペレーティングシステム

下表は、ibi™ WebFOCUS® Client でサポートされるオペレーティングシステムを示しています。

ベンダー (プロセッサ/アーキテクチャ)	オペレーティングシステムバージョン
Microsoft Windows 64 ビット	Windows Server 2022、2019
	Oracle Java 11 をマシンにインストールする必要があります。詳細は、製品のインストールマニュアルを参照してください。
	Windows Server 2016
	Windows 11、10 (開発環境のみに限定)
IBM (pSeries 64)	AIX 7.2、AIX 7.1
Oracle (Sparc 64-bit)	Oracle Solaris 11
Oracle (x86)	Oracle Solaris 11
Red Hat (x86_64)	Red Hat Enterprise Linux 9.1:5.14.0-162.6.1.el9_1.x86_64 以降 - glibc- 2.34-40.el9_1.1.i686
	Red Hat Enterprise Linux 8.6:4.18.0-305.el8.x86_64 以降 - glibc- 2.28-189.5.el8_6.i686
	Red Hat Enterprise Linux 7:3.10.0-123.el7.x86_64 以降 - glibc- 2.17-36.el7.i686
	Red Hat Enterprise Linux 7:3.10.0-123.el7.x86_64 以降 - glibc- 2.17-36.el7.i686

ベンダー (プロセッサ/アーキテクチャ)	オペレーティングシステムバージョン
Red Hat (IBM Power Systems)	Red Hat Enterprise Linux 7:3.10.0-123.el7.x86_64 以降 - glibc-2.17-36.el7.i686
Hewlett Packard (Itanium IA64)	HP-UX 11i (11.31)

ibi WebFOCUS での Java Platform、Standard Edition (Java SE) のサポート

ここでは、ibi™ WebFOCUS® および ibi™ WebFOCUS® ReportCaster Web アプリケーションの展開先としてサポートされる各種 Java SE バージョンの ibi™ WebFOCUS® リリース情報について説明します。また、Java ソフトウェアをインストールまたはアップグレードする前に、Web アプリケーションサーババージョンの Java バージョン要件を確認することも重要です。

注意事項

- Java SE の同一バージョンレベルでのメンテナンスアップデートもサポートされます。
- 新しい JDK バージョンと ibi™ WebFOCUS® の以前のバージョンとの使用はサポートされます。ただし、一部の問題を解決するために、新しいバージョンの ibi™ WebFOCUS® または JDK サービスパックへのアップグレードが必要になる場合があります。
- 新しい Java SE メジャーリリースのサポートには動作保証が必要なため、下表で明記されていない限り、現時点ではサポートされません。
- 「動作保証済み」と記述されている場合、指定された リリース QA (品質保証) の動作保証プロセスで、指定された Java バージョンがテストされたことを示します。

動作保証済みまたはサポート対象の Java バージョンで問題が発生した場合は、技術サポートに連絡してください。

ibi™ WebFOCUS® バージョン 9.3.0 以降では、ibi™ WebFOCUS® および ibi™ WebFOCUS® ReportCaster Web アプリケーションの展開先 Application Server に適用される JVM バージョンの最低要件は、JVM バージョン 11 です。

Java SE バージョンの動作保証ステータス このバージョンでは、Oracle および OpenJDK の Java 11 バージョンが動作保証されています。

サポート対象の Web サーバおよび Application Server

ベンダーの Web サーバおよび Application Server	バージョン
Apache Software Foundation (Apache Tomcat®)	9
Apache Software Foundation (Apache HTTP)	2.4 2.2
Microsoft (IIS)	10 以降
Oracle WebLogic	14c (14.1.1.0.0)

ibm WebFOCUS Client リポジトリでサポート対象の RDBMS およびドライバ

ベンダー (RDBMS)	バージョン	JDBC ドライバ
Apache Software Foundation (Apache HTTP)	10.9.1.0 10.9.1.0	derbyclient.jar derbytools.jar
Microsoft	2022	Microsoft JDBC Driver 12.2 for SQL Server mssql-jdbc-12.2.0.jre8.jar

ベンダー (RDBMS)	バージョン	JDBC ドライバ
MS SQL Server		mssql-jdbc-12.2.0.jre11.jar
		Microsoft JDBC Driver 11.2 for SQL Server
		mssql-jdbc-11.2.0.jre8.jar
		mssql-jdbc-11.2.0.jre11.jar
		mssql-jdbc-11.2.0.jre17.jar
		mssql-jdbc-11.2.0.jre18.jar
		Microsoft JDBC Driver 10.2 for SQL Server
		mssql-jdbc-10.2.0.jre8.jar
		mssql-jdbc-10.2.0.jre11.jar
		mssql-jdbc-10.2.0.jre17.jar
		Microsoft JDBC Driver 9.4 for SQL Server
		mssql-jdbc-9.4.1.jre8.jar
		mssql-jdbc-9.4.1.jre11.jar
		mssql-jdbc-9.4.1.jre16.jar
		Microsoft JDBC Driver 9.2 for SQL Server
		mssql-jdbc-9.2.1.jre8.jar
		mssql-jdbc-9.2.1.jre11.jar
		mssql-jdbc-9.2.1.jre15.jar
		Microsoft JDBC Driver 10.2 for SQL Server
		mssql-jdbc-10.2.0.jre8.jar
		mssql-jdbc-10.2.0.jre11.jar
		mssql-jdbc-10.2.0.jre17.jar
		Microsoft JDBC Driver 9.4 for SQL Server

ベンダー (RDBMS)	バージョン	JDBC ドライバ
		mssql-jdbc-9.4.1.jre8.jar
		mssql-jdbc-9.4.1.jre11.jar
		mssql-jdbc-9.4.1.jre16.jar
		Microsoft JDBC Driver 9.2 for SQL Server
		mssql-jdbc-9.2.1.jre8.jar
		mssql-jdbc-9.2.1.jre11.jar
		mssql-jdbc-9.2.1.jre15.jar
Microsoft MS SQL Server	2019	Microsoft JDBC Driver 8.4 for SQL Server
		mssql-jdbc-8.4.1.jre14.jar
		mssql-jdbc-8.4.1.jre11.jar
		mssql-jdbc-8.4.1.jre8.jar
		Microsoft JDBC Drive 8.2 for SQL Server
		mssql-jdbc-8.2.2.jre13.jar
		mssql-jdbc-8.2.2.jre11.jar
		mssql-jdbc-8.2.2.jre8.jar
		Microsoft JDBC Drive 7.4 for SQL Server
		mssql-jdbc-7.4.1.jre12.jar
		mssql-jdbc-7.4.1.jre11.jar
		mssql-jdbc-7.4.1.jre8.jar
Microsoft MS SQL Server	2017	mssql-jdbc-6.2.2.jre8.jar
		ダウンロードは、 「 https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=55539 」から可能です。

ベンダー (RDBMS)	バージョン	JDBC ドライバ
Microsoft MS SQL Server	2016	mssql-jdbc-6.2.2.jre8.jar
	2014	ダウンロードは、 「 https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=55539 」 から可能です。
	2012	
	2008	
		sqljdbc42.jar
		ダウンロードは、 「 https://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?id=54671 」 から可能です。
IBM (Db2)	11.5	db2jcc4.jar
	10.5	
	9.7 FP4	
Oracle (Database)	21c	ojdbc11.jar
	19c	ojdbc8.jar
	18c	
	12c Release 2	
	12c Release 1	ojdbc7.jar
	11g Release 2	ojdbc6.jar

ベンダー (RDBMS)	バージョン	JDBC ドライバ
Oracle (MySql)	8.0.x	mysql-connector-java-8.0.29.jar
Postgresql	16.1	postgresql-42.7.0.jar
	15.2	postgresql-42.5.0.jar
	13.6	

ローカリゼーション (NLV) および NLS の制限事項

ibi™ WebFOCUS® および App Studio では、一部の選別された言語で国際言語サポートおよびローカライズ版サポートが提供されています。その他の言語に関しては、技術サポートに新機能リクエストを送信することができます。

国際言語サポート (NLS)

国際言語サポート (NLS) は、さまざまな国際言語の文字セットを表すコードページで格納されたデータの読み取りと変換に必要です。ibi™ 独自の NLS API コードページアーキテクチャにより、アプリケーションクライアントとサーバコンポーネント間でデータがコード変換され、ソート処理、大文字小文字の変換、日付、通貨、数値の変換のすべてが管理されます。

ローカライズ版のサポート (NLV)

ローカライズ版は、ユーザインターフェース (例、メニュー、ユーティリティ) が特定の言語で表示されるソフトウェア製品です。ローカライズ版のインターフェースの配列は、すべての言語で共通です。ボタンやメニューの選択項目は、常に製品内の同一位置に表示され、ラベルのテキストのみが異なります。そのため、特定の言語で ibi™ 製品を使い慣れたユーザは、その製品を別の言語でも簡単に操作することができます。

ローカライズ版では、完全な国際言語サポート (NLS) 機能が提供されます。サポートされている任意の言語のデータにアクセスし、すべての国際言語文字を処理、表示、印刷することができます。

ibi WebFOCUS および ibi WebFOCUS Reporting Server

ibi™ WebFOCUS® および ibi™ WebFOCUS® Reporting Server のバージョンでは、データ処理用に次のコードページをサポートしています。

ASCII プラットフォーム

137 - 英語 (米国)/西ヨーロッパ (Latin 1)	923 - Latin 9 (ISO 8859-15)
437 - 英語 (米国)	942 - 日本語 (shift-JIS)
813 - ギリシャ語 (ISO 8859-7)	946 - 中国語 (簡体字)
850 - 西ヨーロッパ言語	949 - 韓国語
852 - 中央ヨーロッパ言語	1089 - アラビア語 (ISO 8859-6)
857 - トルコ語	1250 - 中央ヨーロッパ言語 (Latin 2)
860 - ポルトガル語	1251 - キリル文字 (Windows)
862 - ヘブライ語	1252 - Windows (Latin 1)
863 - フランス語 (カナダ)	1253 - ギリシャ語 (Windows)
865 - 北欧ゲルマン系言語	1254 - トルコ語 (Windows)
866 - キリル文字 II	1255 - ヘブライ語 (Windows)
869 - ギリシャ語	1256 - アラビア語 (Windows)

912 - 中央ヨーロッパ言語 (ISO 8859-2)	1257 - バルト沿岸諸国言語 (Windows)
915 - キリル文字 (ISO 8859-5)	10942 - 日本語 (EUC)
916 - ヘブライ語 (ISO 8859-8)	10948 - 中国語 (繁体字)
920 - トルコ語 (ISO 8859-9)	65001 - Unicode (UTF-8)
921 - バルト語 (ISO 8859-13)	

言語

LANGUAGE パラメータは、国際言語サポート (NLS) の環境を指定します。このパラメータは、サーバのエラーメッセージに使用する言語を設定します。また、マスターファイルに別の言語の TITLE 属性が含まれている場合に、レポートタイトルに使用する言語をこのパラメータで設定することもできます。

ibi™ WebFOCUS®、ibi™ WebFOCUS® Reporting Server Web コンソール、ibi™ Data Migrator およびデータ管理コンソールでは、次の言語がサポートされます。

(* ローカライズ版)

- 英語 (米国)
- 英語 (オーストラリア)*
- アラビア語
- ポルトガル語 (ブラジル)
- 英語 (カナダ)*
- クロアチア語
- チェコ語
- デンマーク語
- オランダ語

- 英語
- エストニア語
- フィンランド語
- フランス語*
- ドイツ語*
- ギリシャ語
- ヘブライ語
- ハンガリー語
- イタリア語
- 日本語*
- 韓国語
- ラトビア語
- リトアニア語
- ノルウェー語
- ポーランド語
- ポルトガル語
- ルーマニア語
- ロシア語
- 中国語 (簡体字)*
- スロバキア語
- スペイン語*
- スウェーデン語
- 中国語 (繁体字)*
- タイ語
- トルコ語
- 英語 (イギリス)

ibi WebFOCUS Client および ibi WebFOCUS ReportCaster

ibi™ WebFOCUS® Client および ibi™ WebFOCUS® ReportCaster では、次のローカライズ版がサポートされます。

次の言語は、翻訳および動作保証プロセスが完了しています。

グループ 1 (完全翻訳)

- 英語 (オーストラリア、カナダ、英国、米国)
- フランス語 (カナダおよび標準)
- ドイツ語
- スペイン語
- 韓国語

グループ 2 (部分翻訳)

次の言語では、特定のエリアのみで翻訳およびテストが完了しています。未翻訳のテキストは英語で表示されます。

- 中国語 (簡体字)
- ポルトガル語 (ブラジル)
- イタリア語
- 日本語

グループ 3 (評価中)

次の言語では、特定のエリアのみで翻訳およびテストが完了しています。未翻訳のテキストは英語で表示されます。この言語を有効にする場合は、技術サポートに問い合わせてください。

ibi WebFOCUS レポート および Microsoft Office のサポート

ここでは、Microsoft Office 製品で出力を生成する ibi™ WebFOCUS® レポートフォーマットのサポートについて説明します。また、ibi™ WebFOCUS® でセキュリティ保護されたプロシ

ジャに動的ドリルダウンリクエストを実行するハイパーリンクの注意事項についても説明します。

ibi WebFOCUS レポートフォーマットおよび Microsoft 製品との関連付け

下表は、Microsoft Excel および PowerPoint のレポートを作成する ibi™ WebFOCUS® のフォーマット、Microsoft Office のアプリケーション関連付け情報、および対応する Windows オペレーティングシステムのバージョンを示しています。

ibi™ WebFOCUS® フォーマット	Microsoft Office 製品	Windows オペレーティングシステム
XLSX	Microsoft Office 365、Microsoft Office 2021、2016、2019	Windows 10
		Windows 8
	Microsoft Office 2016、2013、2010、2007	Windows 7
	Microsoft Excel Viewer 2007	
PPTX	Microsoft Office 365、Microsoft Office 2021、2016、2019	Windows 10
		Windows 8
	Microsoft Office 2016、2013、2010、2007	Windows 7
	Microsoft PowerPoint Viewer 2010	
EXL2K (機能固定リソース)	Microsoft Office 2003、2000	Windows XP
		Windows 2000
PPT (機能固定リソース)	Microsoft Office 2003、2000	Windows XP
		Windows 2000

Windows オペレーティングシステムで利用できる Microsoft Office のバージョンについての詳細は、「[Get Windows 10 App](#)」を参照してください。各 PC に対応する互換性レポートおよび PC、オンボードデバイス、アプリケーションの統合互換表示が参照できます。

ibi WebFOCUS の EXL2K、PPT フォーマット および Microsoft Office 製品のサポート

ファイルタイプおよび Microsoft が導入したコンテンツセキュリティポリシーにより、ibi™ WebFOCUS® の EXL2K、PPT フォーマットは Microsoft Office 2013 以降サポートされません。ibi™ WebFOCUS® の XLSX、PPTX フォーマットは、Microsoft Excel XLSX、Microsoft PowerPoint PPTX のファイルタイプおよび Office 2013 以降のコンテンツセキュリティポリシーを完全にサポートします。

Microsoft Office 2003 のサポート

「[Get Windows 10 App](#)」を参照してください。各 PC に対応する互換性レポートおよび PC、オンボードデバイス、アプリケーションの統合互換表示が参照できます。ibi™ WebFOCUS® 製品は、Microsoft Office 2003 のアプリケーションでも起動および使用が可能です。Microsoft では継続してサポートやアップデートに対応できるよう Office の新しいバージョンへのアップグレードを推奨しています。Windows XP で Office 2003 を使用する場合は、Microsoft Office 2003 および Windows XP SP3 のサポート終了についての詳細を、「[Support for Windows XP ended](#)」で確認してください。

新しいバージョンの Microsoft Excel および PowerPoint で作成したドキュメント、ブック、プレゼンテーションの開始 (ファイルを開く)、編集、保存についての詳細は、「[Microsoft Office Compatibility Pack for Word, Excel, and PowerPoint File Formats](#)」を参照してください。

ibi WebFOCUS の EXL2K、PPT フォーマット および Microsoft Office Viewer 製品のサポ ート

Microsoft Excel Viewer および PowerPoint Viewer は読み取り専用の製品です。これらの製品では、Microsoft Excel および PowerPoint のデータの表示と印刷のみが可能です。ibi™ WebFOCUS® の EXL2K、PPT フォーマットのレポートは、バージョンにかかわらず Microsoft Excel Viewer および Microsoft PowerPoint Viewer ではサポートされません。ibi™ WebFOCUS® の XLSX、PPTX フォーマットのレポートは、それぞれ Microsoft Excel Viewer と Microsoft PowerPoint Viewer でサポートされており、表示が可能です。

Microsoft は、古いバージョンの Microsoft Excel および Microsoft PowerPoint Viewer のサポート終了を発表しています。サポートされる Microsoft Office Viewer 製品のバージョンについての詳細は、「[Supported versions of the Office viewers](#)」を参照してください。Microsoft Office Viewer は、「[Microsoft Download Center](#)」からダウンロードすることができます。

Microsoft Office 365 のサポート

Microsoft Office 365 は、Microsoft Excel および PowerPoint 2013 のローカルインストール機能を提供します。Office 2010 に対応し、Office 2007 の一部機能にも対応しています。Microsoft Office 365 では、Office Online を使用してほとんどのデバイスからアクセス可能なクラウドに Microsoft Excel および PowerPoint のファイルをアップロードすることもできます。Microsoft Office 365 についての詳細は、「[Office 365 for business FAQ](#)」を参照してください。

Microsoft Office 365 を使用して、ibi™ WebFOCUS® の XLSX および PPTX フォーマットのレポートにアクセスすることができます。最初に、HOLD ファイルとして XLSX および PPTX レポートをローカルに作成するか、PCHOLD コマンドを使用してレポートを画面に表示し、ローカルディレクトリに保存します。保存したファイルは、OneDrive for Business にアップロード、保存されます。クラウドにアップロード済みのファイルには、Office Online を使用してアクセスすることができます。

Excel Online、PowerPoint Online および Microsoft Office 2013 で使用可能な機能の違いについての詳細は、「[Office Online Service Description](#)」を参照してください。

Office Online および OneDrive for Business の使用についての詳細は、「[Using Office Online in OneDrive](#)」を参照してください。

ハイパーリンクを使用してレポートを実行する際の注意事項

ibi™ WebFOCUS® レポートでハイパーリンクを選択し、ドリルダウンリクエストから ibi™ WebFOCUS® のセキュアな Web 環境でプロシジャを実行するには、セキュリティコンテキストまたはセッション関連 Cookie の継承が必要です。Microsoft Office 製品は、Web ベースのアプリケーションが作成したセキュリティコンテキストまたはセッション関連 Cookie を継承しません。

次のオプションは、ibi™ WebFOCUS® レポートのハイパーリンクが Microsoft Office 製品内で機能するよう Web 環境を構成するために使用されます。

- 匿名アクセスを許可するよう ibi™ WebFOCUS® 認証を構成する。
- SSO を IIS/Tomcat Windows 統合認証とともに使用する。再ネゴシエーションが自動的に発生し、Excel および PowerPoint レポートが正しく表示されます。
- ibi™ WebFOCUS® バージョン 8 以降では、[ログイン] ページの [ユーザを記憶する] 機能を有効にすることができます。エンドユーザが [ユーザを記憶する] 機能を使用した場合、永続 Cookie が使用されます。Microsoft Office 製品のセッション関連情報の処理についての詳細は、「[Error message when clicking hyperlink in Office:"Cannot locate the Internet server or proxy server"](#)」を参照してください。

ibi WebFOCUS の DOC フォーマット

ibi™ WebFOCUS® ドキュメントのスタイルフォーマットおよび印刷可能なフォーマットの標準は、Acrobat PDF フォーマットです。ibi™ WebFOCUS® の PDF フォーマットは、Acrobat PDF ドキュメントを作成します。ibi™ WebFOCUS® の DOC フォーマットは、Microsoft Word ドキュメントではなく、文字ベースのファイルを生成します。

Legal and Third-Party Notices

SOME CLOUD SOFTWARE GROUP, INC. (“CLOUD SG”) SOFTWARE AND CLOUD SERVICES EMBED, BUNDLE, OR OTHERWISE INCLUDE OTHER SOFTWARE, INCLUDING OTHER CLOUD SG SOFTWARE (COLLECTIVELY, “INCLUDED SOFTWARE”). USE OF INCLUDED SOFTWARE IS SOLELY TO ENABLE THE FUNCTIONALITY (OR PROVIDE LIMITED ADD-ON FUNCTIONALITY) OF THE LICENSED CLOUD SG SOFTWARE AND/OR CLOUD SERVICES. THE INCLUDED SOFTWARE IS NOT LICENSED TO BE USED OR ACCESSED BY ANY OTHER CLOUD SG SOFTWARE AND/OR CLOUD SERVICES OR FOR ANY OTHER PURPOSE.

USE OF CLOUD SG SOFTWARE AND CLOUD SERVICES IS SUBJECT TO THE TERMS AND CONDITIONS OF AN AGREEMENT FOUND IN EITHER A SEPARATELY EXECUTED AGREEMENT, OR, IF THERE IS NO SUCH SEPARATE AGREEMENT, THE CLICKWRAP END USER AGREEMENT WHICH IS DISPLAYED WHEN ACCESSING, DOWNLOADING, OR INSTALLING THE SOFTWARE OR CLOUD SERVICES (AND WHICH IS DUPLICATED IN THE LICENSE FILE) OR IF THERE IS NO SUCH LICENSE AGREEMENT OR CLICKWRAP END USER AGREEMENT, THE LICENSE(S) LOCATED IN THE “LICENSE” FILE(S) OF THE SOFTWARE. USE OF THIS DOCUMENT IS SUBJECT TO THOSE SAME TERMS AND CONDITIONS, AND YOUR USE HEREOF SHALL CONSTITUTE ACCEPTANCE OF AND AN AGREEMENT TO BE BOUND BY THE SAME.

This document is subject to U.S. and international copyright laws and treaties. No part of this document may be reproduced in any form without the written authorization of Cloud Software Group, Inc.

ibi, the ibi logo, TIBCO Administrator, BusinessConnect, TIBCO Designer and TIBCO are either registered trademarks or trademarks of Cloud Software Group, Inc. in the United States and/or other countries.

All other product and company names and marks mentioned in this document are the property of their respective owners and are mentioned for identification purposes only. You acknowledge that all rights to these third party marks are the exclusive property of their respective owners. Please refer to Cloud SG’s Third Party Trademark Notices (<https://www.cloud.com/legal>) for more information.

This document includes fonts that are licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1, which is available at: <https://scripts.sil.org/OFL>

Copyright (c) Paul D. Hunt, with Reserved Font Name Source Sans Pro and Source Code Pro.

Cloud SG software may be available on multiple operating systems. However, not all

operating system platforms for a specific software version are released at the same time. See the “readme” file for the availability of a specific version of Cloud SG software on a specific operating system platform.

THIS DOCUMENT IS PROVIDED “AS IS” WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, OR NON-INFRINGEMENT.

THIS DOCUMENT COULD INCLUDE TECHNICAL INACCURACIES OR TYPOGRAPHICAL ERRORS. CHANGES ARE PERIODICALLY ADDED TO THE INFORMATION HEREIN; THESE CHANGES WILL BE INCORPORATED IN NEW EDITIONS OF THIS DOCUMENT. CLOUD SG MAY MAKE IMPROVEMENTS AND/OR CHANGES IN THE PRODUCT(S), THE PROGRAM(S), AND/OR THE SERVICES DESCRIBED IN THIS DOCUMENT AT ANY TIME WITHOUT NOTICE.

THE CONTENTS OF THIS DOCUMENT MAY BE MODIFIED AND/OR QUALIFIED, DIRECTLY OR INDIRECTLY, BY OTHER DOCUMENTATION WHICH ACCOMPANIES THIS SOFTWARE, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY RELEASE NOTES AND "README" FILES.

This and other products of Cloud SG may be covered by registered patents. For details, please refer to the Virtual Patent Marking document located at <https://www.tibco.com/patents>.

Copyright © 2021-2024. Cloud Software Group, Inc. All Rights Reserved.